

I 令和 5 年度事業報告総論

令和 5 年度においては、入院者は平均で 2.4 名と前年度より 0.5 増、施設内での看取り対応者数は 4 名であった。

また、新型コロナウイルス感染症については、8 月 28 日から 9 月 9 日にかけて 2 階フロアにて入所者 13 名(ショート 2 名含む)及び職員 5 名・9 月 15 日から 9 月 25 日にかけて 3 階フロアにて入所者 7 名(ショート 0 名含む)及び職員 1 名出すこととなったが、以前のような重傷者はおらず、比較的現場職員の対応も落ち着いてできた。

又、今年度においては、新型コロナが第 5 類に移行となったこともあり、状況に応じて施設内における各種行事や実習生・ボランティアの受入れ、外部研修、フジミンカフェ等を少しずつではあるが実施することができた。

《経営感覚について》

短期入所利用者は平均 13.0 名と昨年度より 2.3 名増であったが、予算に対しては減収であった。特に 8 月・9 月はコロナ感染の影響がみられた。通所介護は平均 5.5 名と前年より 0.7 名減となり、ここ 3 年減少が続いており、担当職員の在り方も含め令和 6 年 7 月より最大 6 ヶ月の休止を図り、通所介護の再構築を実施することとした。

一般入所者については、平均介護度は 3.91・入院者数は平均 2.4 名。又、入所は 26 名・退所は 29 名であった。10 月以降は毎月 3 名の退所があり特に 2 月に 7 名と多く、入所待機者や実調が追いつかない状況であり結果、3 月末時点の入所者数は 78 名と定員に対してマイナス 4 名となった。

《スタッフの確保について》

今年度は 8 名の採用(介護職 3 名・看護職 3 名・生活相談員 1 名・管理栄養士 1 名)と 4 名の退職(看護職 2 名・生活相談員 1 名・事務員 1 名)であった。今年度においては介護職員の退職は 0 名であった。又、派遣での夜勤専従看護師 2 名については、法人での直接契約へ変更し現在看護職については 6 名(夜勤専従 2 名含む)とパート 1 名の体制である。年度末時点において特養介護職常勤正職員は 28 名(育休 2 名含む)と常勤フルパート 2 名+常勤嘱託職員 2 名(外国籍)であり 10 年以上の介護職員は 14 名であり、3 年未満の介護職員は 6 名となっている。全体的に大きな移動もなく落ち着いた年度であったと考えられる。

《感染予防と拡大防止について》

第 5 類になった新型コロナウイルス感染症については、2 回苑内にて発生することとなったが、以前ほど職員が慌てることなく対応することができ、深刻な拡大へとはならなかった。今後は事業継続に向けた計画(BCP)の感染症編運

用や指針に基づく感染症の予防及びまん延防止の対策委員会を定期に開催して従業員に対して周知徹底を図ります。

《食の見直しについて》

コロナ5類に伴い以前のように行事催し物における食や喫茶についても少しずつ戻せてきた一年であった。但し、入所者の嚥下状況低下が以前よりも顕著に感じられ、今後さらなる形態の工夫が必要と思われる一年でもあった。又、年度途中で管理栄養士を1名採用することで、2名とし栄養マネジメント強化加算算定に向けて体制を整備した。

今後も喫茶や居酒屋・行事食については工夫し可能な限り実施し楽しんでいただきたい。

《修繕補修について》

1室未完成となっていた3階の4人部屋については改修完了した。又、急遽対応することとなった名古屋市の長寿命化補助金を活用しての一般浴室・脱衣室・ろ過設備の修繕改修を実施した。合わせて現場職員からの指摘のあった場所や故障箇所・不具合や給湯及び冷暖関係は故障不調の都度修理をした。尚、今後はエレベーター2基の入替更新が必要となる。

《防災訓練について》

事業継続に向けた計画(BCP)の自然災害編については作成することができ、今後は通常の避難訓練とは別に、事業継続に向けた計画(BCP)の運用や指針に基づく見直しや対策委員会を定期に開催して従業員に対して周知徹底を図ります。尚、通常の年2回の避難訓練については以前同様の従業員及び入所者参加型を再開していく。

《その他について》

看取りについては囑託医が変更になったものの、対応可能な範囲内で指針やマニュアルに基づき4名の方を施設内で看取ることとなり、必要に応じてマニュアル等の修正も行った。フジミンカフェ(認知症カフェ)については新型コロナにて未開催となっていたものを開催することができた。又、夏祭りをはじめ各種行事やボランティアの受入れ、施設内外への研修においても状況に合わせてながら徐々に再開することができた。

コロナ感染に伴う備品(マスク・消毒・プラ手・防護服・抗原検査キット等その他関連するもの)購入については補助金の利用を含め随時対応した。

介護ロボット補助金を利用して今年度もベッドの入替を実施した。(入替はほぼ完了。)

(資料 1) 令和5年度 藤美苑の介護実績

上段……令和5年度

下段……令和4年度

| 区分 | 延入所者数(入院者除く) | 増減数(人) | 1日平均利用者(人) | 年度未利用者(人) | 平均介護度(度) | 1日平均入院者(人) | 入所者数(人) | 退所者数(人) | 死亡退所(人) | 年度未入所待機者(人) |
|----|--------------|--------|------------|-----------|----------|------------|---------|---------|---------|-------------|
| 特養 | 28,526 | △332 | 80.3 | 78 | 3.91 | 2.4 | 26 | 29 | 16 | 87 |
| | 28,858 | | 80.3 | 81 | 4.01 | 1.9 | 22 | 19 | 5 | 122 |

| | | | | | |
|------|-------------|-----|------|---|------|
| 短期入所 | 4770(要支援15) | 862 | 12.5 | / | 3.50 |
| | 3908(要支援0) | | 10.7 | | 3.21 |

| | | | | | |
|------|------------|------|------|---|------|
| 通所介護 | 1393(予防87) | △196 | 5.50 | / | 2.26 |
| | 1589(予防0) | | 6.20 | | 2.30 |

| 区分 | ケアプラン | 増減数(人) | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 |
|------|-----------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 居宅支援 | 372(予防68) | 73 | 18 | 50 | 80 | 105 | 59 | 34 | 26 |
| | 299(予防89) | | 29 | 60 | 70 | 61 | 60 | 18 | 1 |

令和5年度入退所・入院状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 入所者数(人) | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 4 | 5 | 26 |
| 退所者数(人) | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 7 | 3 | 29 |
| 月末在籍者数(人) | 82 | 81 | 82 | 82 | 81 | 81 | 81 | 80 | 81 | 79 | 78 | 78 | |
| 月末入院者数(人) | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 4 | 4 | 6 | 0 | 0 | |
| 月末実質生活者数 (人) | 81 | 80 | 82 | 82 | 79 | 78 | 79 | 76 | 77 | 73 | 78 | 78 | |

表 会議・委員会開催状況（令和5年度）

| 名称 | 参加者 | 開催予定 | 会議内容 | 実施回数 |
|--------------------|---|---|--|------|
| 運営会議 (感染症対策委員会) | 苑長・支援相談部次長 支援相談課長・介護支援専門員・生活相談員 介護部次長・介護課長 居宅支援課長・管理栄養士 看護係長・通所介護課長 | 第3水曜日 13時30分～ | 各課における計画進行状況の報告 運営方針・行事予定等の協議及び決定 感染症対策の検討 | 12回 |
| 職員会議 (防災対策) | 全職員 | 第4月曜日 14時～ | 運営方針、処遇方針等の報告、防災・腰痛対策 各種研修・会議の報告、行事の計画発表、AED 講習等 | 12回 |
| 処遇検討 (リスク管理)会議 | 苑長・支援相談部次長・管理栄養士 支援相談課長・介護支援専門員・看護係長 生活相談員・介護部次長・介護課長 | 第3水曜日 10時30分～ | 入所者に関する処遇、リスク管理、入退所の 調整等について協議検討する。 | 12回 |
| 身体拘束廃止 委員会 | 苑長・支援相談部次長・管理栄養士 支援相談課長・生活相談員・介護支援専門員 介護部次長・介護課長 看護係長 | 第3水曜日 15時～ | 身体拘束廃止の為の様々な問題を検討する。 個別対応検討含む。 | 12回 |
| 褥瘡対策委員 会 | 苑長・嘱託医・看護係長・介護 部次長 介護課長・相談 次長・相談課長 介護支援専門員・管理栄養士 | 第3水曜日 15時30分～ | 褥瘡への取組みにおいて、ハイリスク者に対し予 防計画及び褥瘡対象者に対して治療計画を作成 し早期解決を図る。 | 12回 |
| 給食会議 | 苑長 管理栄養士 支援相談部次長・支援相談課長 介護部次長・介護課長・看護係長 | 第3水曜日 10時～ | 給食における新メニュー案の検討 喫茶問題の対応 その他給食及び栄養指導に関する協議 | 12回 |
| ゼネラル給食会議 | 管理栄養士 総務課長・介護部次長 ゼネラルフード関係者 | 第3木曜日 | 給食会議で出された問題等についての連絡・ 調整、その他新しい取組について協議 | 12回 |
| ケアカンファ レンス | 介護支援専門員 介護部次長・介護課長 介護係長・看護係長(看護職員) 管理栄養士・支援相談課長 | 月3回程度 | 各フロアごとに入所者個々のケアプランに ついて討議する。対象者により栄養ケアマネ ジメントの内容も含む | 32回 |
| 入所検討委員 会 | 苑長・支援相談部次長 管理栄養士・第三者委員 支援相談係長・介護支援専門員 介護部次長・介護課長・看護係長 | 6月・9月・12月・3月 (3ヵ月毎) 第3木曜日 その他必要時 | 優先入所者名簿の作成、入所待機順位の決定 | 4回 |

| | | | | |
|-----------------|-----------------------------------|-------|--|-----|
| 介護課会議 | 介護部次長 介護課長・係長 ケアリーダー(月1回参加) | 月二回 | 介護課内の連携を図るための協議 | 13回 |
| 行事企画委員会 | 行事企画委員 | 第1火曜日 | 当苑における春まつり、夏祭、秋まつり、敬老会(アトラクション)、流しそうめん等行事の立案・企画・準備 | 12回 |
| 藤美苑便り編集委員会 | 藤美苑便り編集委員 | 第2水曜日 | 広報誌“藤美苑だより”の紙面内容の検討・構成・発送 | 4回 |
| 外出担当者会議 | 外出担当介護職員 | 月一回 | 季節に合わせてご利用者に外出して頂く為の調査報告、企画を検討する。 | 7回 |
| 排泄担当者会議 | 排泄担当介護職員 | 月一回 | オムツアンダー30%に向けた取組検討及びご利用者に合った紙オムツの検討調査。 | 6回 |
| 看護課ミーティング | 看護職員 | 月一回 | 看護における諸問題の検討や各種決め事、効率のよい業務改善等について話し合い | 3回 |
| 支援相談部ミーティング | 支援相談部(居宅支援課除く) | 月一回 | 支援相談業務に関わる課題の共有や解決を図る為の協議 | 0回 |
| デイサービス会議 | デイサービス職員 | 月一回 | デイサービスにおける諸問題の検討や各種決め事等の変更についての話し合い | 12回 |
| レクリエーションミーティング | 各フロアーレク担当介護職員 | 月一回 | 各フロアーでのレクリエーション実施計画の検討及び評価 | 7回 |
| フロアーミーティング | 各フロアー介護職員 | 月一回 | フロースタッフによる業務・フロアー運営に関する問題や解決策を検討する。 | 3回 |
| 褥瘡予防ミーティング | 担当介護職員 | 月一回 | 褥瘡予防に向けた職員の意識向上や処遇の検討 | 12回 |
| 認知症ケアミーティング | 担当介護職員 | 月一回 | 認知症ケアの改善・向上に向けた職員の研修や検討。 | 9回 |
| ケアスタッフミーティング | 介護職員 | 年一回 | 特養介護職員の連携を図る為の協議・勉強 | 0回 |
| 藤美苑を地域に知ってもらおう会 | 支援相談部・介護部・総務部 | 月一回 | 地域貢献事業活動の為の方向性や実施に向けての具体的な計画を協議していく会議 | 2回 |
| 感染症勉強会 | 全職員 | 年一回 | 感染症対策の為の知識を高め院内感染の発生と拡大を防ぐ | 1回 |

表 令和5年度の行事

| 年月日 | 内 容 | 参 加 者 | | | | 計 |
|--------|--|-------|------|--------|--------------------|-----|
| | | 家族 | 地域住民 | ボランティア | 入所者(ショート ステイ含む) | |
| 4月21日 | 春まつり | / | / | / | 93 | 93 |
| 4月21日 | 誕生会 | / | / | / | 93 | 93 |
| 5月19日 | 誕生会 | / | / | / | 90 | 90 |
| 6月16日 | 誕生会 | / | / | / | 94 | 94 |
| | 流しそうめん | 中止 | | | | |
| 7月7日 | かき氷レク | / | / | / | 32 | 32 |
| 7月13日 | かき氷レク | / | / | / | 29 | 29 |
| 7月18日 | かき氷レク | / | / | / | 34 | 34 |
| 7月21日 | 誕生会 | / | / | / | 96 | 96 |
| 8月18日 | 誕生会 | / | / | / | 92 | 92 |
| 8月26日 | 納涼祭 | 61 | / | | 95 | 156 |
| 9月14日 | 敬老祝賀会 | / | / | / | 92 | 92 |
| 9月15日 | 誕生会 | / | / | / | 94 | 94 |
| 9月17日 | 自由ヶ丘敬老会ふれあい訪問 | 中止 | | | | |
| 10月20日 | 誕生会 | / | / | / | 91 | 91 |
| 11月3日 | 秋まつり | / | / | / | 92 | 92 |
| 11月17日 | 誕生会 | / | / | / | 95 | 95 |
| 11月25日 | フジミンカフェ | / | 16 | / | | 16 |
| 12月15日 | 誕生会 | / | / | / | 89 | 89 |
| 12月27日 | もちつき | / | / | / | 93 | 93 |
| 1月15日 | 誕生会 | / | / | / | 90 | 90 |
| | 節分 | / | / | / | 82 | |
| 2月16日 | 誕生会 | / | / | / | 89 | 89 |
| 3月15日 | 誕生会 | / | / | / | 85 | 85 |
| 3月31日 | フジミンカフェ | / | 8 | / | | 8 |
| その他 | <p>※昨年度同様に新型コロナウイルス感染症予防対策の為、例年実施している。あすなるお茶を楽しんで飲む会、衣類販売は中止。春まつり・秋祭りは外部ボランティアは募集せずに小規模で施設内で実施。※納涼祭及び前後の夏季ボランティア受入実施している。誕生会も各フロアにて誕生者のみを対象として花の贈呈、夕食を誕生会食として開催。棒の手、夏祭りの地域開放は中止としたが、フジミンカフェ(認知症カフェ)は2回開催し、地域住民との交流を行う事ができた。ご家族が、フロア内まで入れる面会は令和5年度中は停止していた為、各行事へのご家族参加は納涼祭を除いて0名であった。</p> | | | | | |

職員の(外部)研修状況

研修の状況
 施設外研修 (令和5年度)
 職員の研修状況

| 研修講習名 | 日にち | 内容 | 職種 | 氏名 |
|---------------------------|--------|------------------|--------|-------|
| 令和5年度名介研 第1回例会 | 4月17日 | 例会 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 給食施設指導講習会 | 5月11日 | 給食施設指導講習 | 管理栄養士 | 市岡真衣 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 6月3日 | 事例提出研修会 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 令和5年度社会福祉法人集団指導説明会 | 7月6日 | 社会福祉法人集団指導 | 総務部長 | 向井和秀 |
| 認定電気工事従事者認定講習 | 7月13日 | 電気工事従事者認定講習 | 庶務課長 | 佐藤正樹 |
| 介護支援専門員更新研修 | 7月29日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 7月30日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 8月6日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 8月27日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 9月3日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 9月10日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 9月11日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 9月17日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 9月18日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 9月29日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 9月30日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 給食施設指導講習会 | 10月3日 | 乳和食セミナー | 管理栄養士 | 市岡真衣 |
| 給食施設指導講習会 | 10月4日 | ヨーグルトセミナー | 管理栄養士 | 市岡真衣 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 10月5日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 10月11日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 2023年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会 | 10月17日 | 開会式 他 | 介護課長代理 | 松尾 孝行 |
| コロナ禍の危機を乗り越えるResilience | 10月17日 | コロナ禍における施設看護 | 看護職員 | 加藤美加 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 10月17日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 2023年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会 | 10月18日 | 事例検討 他 | 介護課長代理 | 松尾 孝行 |
| コロナ禍における施設看護栄養のResilience | 10月18日 | コロナ禍における施設看護 | 看護職員 | 加藤美加 |
| 介護支援専門員更新研修 | 10月18日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談次長 | 堤清志 |
| 名古屋市認定調査員研修現任研修 | 10月18日 | 介護認定調査員現任研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 10月19日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談次長 | 堤清志 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 10月24日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 10月30日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 11月1日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談次長 | 堤清志 |
| 介護支援専門員更新研修 | 11月2日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談次長 | 堤清志 |
| 介護支援専門員更新研修 | 11月11日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 11月12日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 令和5年主任介護支援専門員更新研修 | 11月14日 | 主任介護支援専門員更新の為の研修 | 居宅支援次長 | 関口彰一 |

| | | | | |
|-------------|--------|------------------|--------|------|
| 介護支援専門員更新研修 | 11月27日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談次長 | 堤清志 |
| 介護支援専門員更新研修 | 12月2日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 12月3日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 12月16日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 支援相談課長 | 熊崎洋一 |
| 介護支援専門員更新研修 | 1月10日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |

| | | | | |
|---|-------|------------------|--------|-------|
| 愛知県外国人人材受入セミナー | 1月17日 | 外国人受入セミナー | 介護支援課長 | 中村典久 |
| 介護支援専門員更新研修 | 1月18日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 介護支援専門員更新研修 | 1月19日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 介護支援専門員更新研修 | 2月1日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 介護支援専門員更新研修 | 2月2日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 介護支援専門員更新研修 | 2月15日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 介護支援専門員更新研修 | 2月16日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| 令和5年度第2回千種区の高齢者福祉施設職員を対象とした感染症対策講習会 | 2月19日 | 感染症対策に関する講習会 | 介護課長代理 | 松尾 孝行 |
| 特定技能徹底解剖！法改正と今後の予測 | 2月20日 | 特定技能に関する研修 | 介護支援課長 | 中村典久 |
| 介護支援専門員更新研修 | 3月1日 | 介護支援専門員の更新に関する研修 | 介護次長 | 小塚 敦 |
| <p>令和5年度についても、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの為、外部研修を必要最低限とした。 尚、介護保険指定事業者講習会（集団指導）については、youtube LIVEで開催され一定期間内に録画で視聴参加という形式で実施されている。</p> | | | | |

Ⅱ 部門別報告

1 支援相談部

(1) 一般入所者

<入所待機者について>

『名古屋市特別養護老人ホーム優先入所に関する指針』に基づき、3ヶ月ごとの入所検討委員会を4回実施した。※コロナウイルス予防対策で3月開催分に関しては名古屋市に確認の上、施設職員のみで開催し議事録を第三者委員に送付している。

また、名古屋市特別養護老人ホーム入所待機者調査（依頼）については、待機者（平成15年1月1日～令和6年4月1日）のなかで 個人情報第三者提供について同意を得られている申込者について報告した。

入所待機者で申込み後、介護認定有効期間が終了しているにもかかわらず変更届を出しておられない方、前任者の状況確認の日付が古い方について電話調査を行い更新依頼。その中で電話をしてもつながらない方については、今後配達証明にて通知し名簿から削除する事も検討している。

<要介護度の状況について>

平均介護度は**3.91**であり、**重度化傾向にある。**

<重度化対応>

令和5年度の胃瘻増設者の新規入所者は**1**件であった。尚、胃瘻増設後の退院については**0**件の受け入れ結果となった（**胃瘻造設後、痰吸引頻回で受入できなかった方が1名おられた。**）

入所契約時点での看取りの意向を確認と半年に一度、看取りの意向確認を定期的実施した。

<入退所の状況について>

年度内の退所者は**29**名。退所理由は、死亡が**16**名で昨年より**11**名増、長期入院（**退院の見込みのない医療機関入院**）が**13**名で昨年度から**増減無し**であった。

入所者の平均在所期間は**3**年で、最高は女性で**18**年**6**ヶ月である。

藤美苑での看取り介護開始以後、令和5年度は**5**名の方が嘱託医より看取りの診断を受け、**4**名の方が藤美苑にて永眠されている。**看取り希望であったが、状態低下みられたが看取り介護の診断を受ける前に急変し救急搬送されるも亡くなられた方も1名おられた。**

<加算について>

褥瘡マネジメント加算については算定していないが、褥瘡予防計画を作成・実施。3ヶ月毎の見直しを行い褥瘡予防に努めた。個別機能訓練加算は理学療法士により個別計画を作成。個別の訓練を行う事で身体機能の維持・向上に取

り組んでいる。各計画書について令和5年度も作成後、面会時、支払い時などのタイミングで早めの回収ができるよう心掛けた。郵送では返送して頂けないご家族もおられる為、回収に苦慮している。

排泄支援加算については要件に該当した方は0名であった。

<稼働について>

在宅介護中や病院入院中で入所申込みをしたご家族様には、ショートステイ利用や在宅サービスの紹介を行い状況により担当ケアマネジャーにご相談頂くようにお勧めした。一般入所の申し込みや、調査の際にショートステイの利用を希望された場合でも、資料を共有する事でスムーズな利用が出来るように対応した。結果、藤美苑のデイサービスやショートステイの利用を申込頂いた利用者もおられた。

退所後の空床日数を減らす事を意識して、常に新規入所者は基本一週間以内に藤美苑に入所して頂けるよう心がけたが、**新型コロナウイルス感染症の感染状況(入所予定利用者がその時点で過ごしている場所での新型コロナ発生等)、介護支援専門員の退職に伴い相談員が介護支援専門員との兼務体制となった事、加えて年度末の入所者の相次ぐ退所により、定員を下回った状態で年度を終えている。**

入院者に対しては、看護課や入院中の病院ケースワーカーとの連携を密に図り前もって病院へ実情調査、電話調査により状態把握に努め長期入院者の受入可否の把握をし、ケースワーカー及びご家族と相談にて退所後の受け入れ先確保対応に努めた。

<感染症対策>

○新型コロナウイルス感染症

世間的には新型コロナウイルスの5類への変更に伴い様々な制限が解除された。藤美苑でも当初は9月からご家族の面会について居室まで入って頂くように変更予定であったが、8月末の夏祭り直後から新型コロナのクラスターが発生した事に伴い、面会方法の変更を見合わせた。尚、令和6年4月1日より、予約制は継続しつつ、直接、居室に入って頂ける形での面会を開始している。

職員の出勤時の手指のアルコール消毒、検温の対応を加えて行った。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行に伴い感染の波に合わせて、下記対応を継続実施している。

- ・予約制による玄関ロビーでの面会実施。
- ・新型コロナウイルスが苑内で発生した際の身元引受人への状態報告。
- ・7月28日に熱発等症状なく新規一般入所された方が7月30日に高熱発され検査の結果新型コロナウイルス陽性となり隔離療養にて対応し、他利用者へ感染する事はなかった。
- ・8月28日高熱発で救急搬送された方が搬送先の病院の検査にて新型コロナ陽性、同日他利用者1名も陽性。最終的には利用者合計13名が陽性にて9月9日まで療養対応を行った。
- ・9月15日3階の利用者1名高熱発にて検査の結果、新型コロナ陽性、合計9名の方が陽性となり9月24日まで療養対応を実施した。

※感染者の隔離対応とゾーンニング、感染者及び、関わる職員の固定等、感染

状況に応じて名古屋市の各保健センターと連携を取りながら対応を実施。感染した利用者の身元引受人には毎日状態報告を実施。他階の利用者には公式LINEや電話連絡、文書送付にて状況報告を行った。

○インフルエンザ

新型コロナウイルスの流行もあり年度を通して感染予防の対応を実施。新型コロナウイルスとのダブル感染も危惧された為、インフルエンザ予防接種に関しては、身元引受人への意向確認を例年同様一ヶ月早く実施。施設内に加湿器を設置し、環境整備による予防を継続して行った。また例年同様11月中旬～12月上旬にかけて季節性インフルエンザの予防接種を実施した。職員でインフルエンザに罹患した者は1名、利用者は0名であり施設内で流行する事はなかった。

○感染性胃腸炎

新型コロナウイルス対応の為、面会の中止及び制限もあり、差し入れは少なかったが、例年同様、身元引受人にご家庭で調理された差し入れの禁止を呼びかけた。令和5年度も冬季は散発的に嘔吐症状の方が数名みえたが、感染性胃腸炎の診断を受けた方はみえず、施設内で感染性胃腸炎の症状が流行する事はなかった。

○高齢者肺炎球菌予防接種

平成22年10月より名古屋市の助成が開始されたのを受け、引き続き、新入所の方への周知に努めた。

<レクリエーション>

【衣類販売】

新型コロナウイルスの対応で、昨年同様、衣類販売は開催を中止、アームカバーやレッグウォーマーなど必要物品があった場合は身元引受人の了承を得て、これまで衣類販売を委託していた「おしゃれセンターうらしま」に発注し代理購入した。その他、利用者の現状に合った衣類を着用頂くため、必要に応じて、身元引受人の了解を得て、職員や施設で代理購入している。

<家族交流会>

【食事体験企画】

普段生活しているご利用様が普段どのような食事を召し上がっているのかご家族様に体験して頂く。また施設サービスについてもご意見・ご要望をお伺いし、ご利用者と一緒に食事をして頂き、ご家族とのよい関係を構築していくことを目的として年3回の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和3年度においても一度も開催しない結果となった。現状、通常面会もアクリル板を通しての対応をしており、食事というマスクを外す場面となる食事体験については、新型コロナウイルスが終息しないと実施は難しいと考えるが、従来のような行事として複数の世帯の家族が集まる食事会ではなく、希望者には相談室で個別に召し上がって頂く形式等何か別の方法で実施できるように検討していくことが現実的と思われる。

<その他>

新入所時に個人情報の保護の観点から、入所者の写真を利用させて頂く範囲について身元引受人に書面にて意向確認を実施。①ホームページ等ウェブサイトへの掲載、②機関紙(藤美苑便り)への掲載、③施設内の展示の大きく3つに分けて意向を確認した。令和5年度の新入所の方で使用制限の希望をされた方はホームページへの記載のみ拒否された方が1名、ホームページ及び藤美苑便りへの掲載を拒否された方が1名おられた。

(2) ショートステイ

< 関連業務及び苦情への対応 >

【苦情対応】

今年度、ご家族様・ご利用者様からの苦情は0件だった。
尚、今年度も実施したユーザー評価事業のアンケート調査においてサービスの内容について要望のご意見をお聞きしたため、改善に働きかけたい。

【事故対応】

今年度サービス利用中の転倒など事故発生における受診は1件、入院されるケースは0件だった。

転倒等重大な事故以外でも、内出血斑、皮膚剥離等発見時は、発生原因の把握・経過・今後の対応について、ご家族様にご理解頂きやすいように明瞭・丁寧な説明を心掛けた。

また、新規の契約時には人員体制の説明、常時付き添いが困難な施設の現状を説明することで、事故発生におけるリスク管理に配慮した。

【サービス向上について】

- ご利用中、体調不良等で受診が必要なケースについて、基本的にはご家族様に対応を依頼するが、ご家族様のご都合・状況によっては対応可能な範囲で施設対応による受診送迎・付き添いを行った。
- サービス利用中、必要に応じて、座位保持・トイレ介助・適正な車椅子の選択など理学療法士に意見・指導を頂き、有益であればご家族様にも情報提供を行った。

【稼働率増加対策】

○送迎について

入退時の送迎の他にも必要に応じて、退院時、受診時の送迎を実施。
出来るだけニーズに応えられるよう努めた。

また、送迎時に介護者が高齢であったり、環境が整っていない事により専門的な介護（移乗）が必要な場合は安全に行える範囲でニーズに応えられるよう対応した。

○受け入れについて

介護課の受け入れ体制の協力により、利用依頼当日や依頼から数日以内での受け入れを行うなど緊急の受け入れにも対応する事ができた。

特養入所申込者で必要性・希望に応じて、特養入所までショートステイを連続利用して頂けるよう、入所相談員と連携を図れた。

【新型コロナウイルス感染予防対策】

- 昨年度に引き続き、利用前の健康状態の聞き取り、検温表の提出等でショートステイ利用時の受け入れに留意した。

新型コロナも一時に比べ感染状況は落ち着いたが、感染拡大のリスクはあるため、引き続き受け入れ前の健康状態把握に努めたい。

- 送迎車の換気、送迎時の乗車利用者は1名、送迎後のアルコール消毒等送迎時に伴う感染予防に取り組んだ。

【利用者の特徴】

令和5年度の新規契約者数は24名と昨年度と比べて2名減少した。

(昨年度は26名)

介護度別利用者人数は、要介護度④のご利用者が1番多く、2番目に多いのは要介護③となる。(昨年は要介護②の方が1番多かった)

その結果、今年度の平均介護度は3.5(前年度3.2)と平均要介護度が上がり利用者の重度化が伺える。

月別のご利用者数の1日平均も昨年の10.7人から13.0人と2.3人増加。

延べ利用者人数も4770人で昨年の3908人より862人増加となった。

今年度は6名の長期利用者が特養入所された。(昨年より4名減)

令和4年度は新型コロナの施設内の感染流行により、2回ショートステイを休止し、利用実績に影響したが、令和5年度は新型コロナによる休止は1回のみ。休止期間も14日間と最短で再開できた。

体調不良によるキャンセルも前年度より少なかった状況も利用率増加に繋がったと思われる。

2023年度 ショートステイ介護度別人数 一覧

| 介護度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 要介護③～⑤合計人数 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|----------------------------------|
| V | 47 | 49 | 58 | 85 | 80 | 59 | 57 | 73 | 84 | 60 | 44 | 46 | 742 | 3939 |
| IV | 31 | 87 | 126 | 166 | 171 | 168 | 226 | 217 | 183 | 152 | 121 | 123 | 1771 | |
| III | 142 | 139 | 161 | 119 | 105 | 97 | 106 | 74 | 114 | 122 | 139 | 108 | 1426 | |
| II | 90 | 77 | 70 | 46 | 38 | 36 | 73 | 75 | 53 | 49 | 36 | 39 | 682 | |
| I | 5 | 1 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 26 | 24 | 20 | 23 | 26 | 134 | |
| 経済的要介護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支援② | 0 | 0 | 0 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 15 | |
| 支援① | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 総数 | 315 | 353 | 418 | 428 | 400 | 360 | 462 | 465 | 461 | 403 | 363 | 342 | 4770 | R5.4月～R6.3月 介護度③以上割合 82.6% |
| 月稼働率 | 10.5 | 11.4 | 13.9 | 13.8 | 12.9 | 12.0 | 14.9 | 15.5 | 14.9 | 13.0 | 12.5 | 11.0 | 年間平均稼働率 | |
| 平均稼働率 | 10.5 | 10.9 | 11.9 | 12.4 | 12.5 | 12.4 | 12.8 | 13.1 | 13.3 | 13.3 | 13.2 | 13.0 | 13.0 | |



| 令和5年度平均介護度 | |
|------------|-------|
| 要支援① | 0 |
| 要支援② | 5,625 |
| 介護① | 134.0 |
| 介護② | 1364 |
| 介護③ | 4278 |
| 介護④ | 7084 |
| 介護⑤ | 3710 |
| 平均介護度 | 3.5 |

(3)介護支援専門員

介護支援専門員の年度途中の退職に伴い介護支援専門員業務に専念することができなかった事もあり年度を通して、各種業務が遅延してしまっただ。

◆ 要介護認定調査

介護認定更新時、市の委託により支援相談課、介護課、看護課、管理栄養士理学療法士と連携をとりつつ入所者個々の状態を調査した。調査後は、名古屋市介護認定事務センターへ、郵送にて申請書類や調査票を提出した。

前月の認定調査料の請求を月初めにまとめ、請求書を名古屋市介護認定事務センターに送付した。調査対象者は32名であったが、市外の入所者1名と区分変更者2名がおられた為、実施は28件

認定調査// 令和5年度 28件実施

認定結果// 28件中

| | |
|------------|----------------------|
| 介護度の変更のない方 | 16名(住所地が市外の為、他事業所調査) |
| 介護度が1上がった方 | 8名(区分変更1名 他事業所にて調査) |
| 介護度が2上がった方 | 1名(区分変更1名 他事業所にて調査) |
| 介護度が4下がった方 | 1名 |
| 介護度が1下がった方 | 6名 |

◆ 個別処遇 ケアプラン作成

ケアカンファレンス 令和5年度 32回 (月3回定例開催)

新規入所があった場合、入所日に暫定的なケアプランを作成し、ご家族の承諾を頂き、その後約1ヶ月間の施設生活を踏まえ、ケアカンファレンスを開催し見直し修正を行い、今後のケアプランを作成した。

入所受入時にケアプランを説明する事で、ケアスタッフが状態を聞き取りする時間を少なくし、ご家族が費やす時間を短縮した。

その後は、モニタリングや評価を実施することで、認定月に合わせ6ヶ月ごとにケアプランを見直ししている。又、退院その他状態変化が大きく見られた方は、適時カンファレンスを開き、適正なサービス計画作成に努めた。

尚、フロアでの新型コロナ罹患患者対応中や、担当者が新型コロナの濃厚接触者該当期間は、ケアカンファレンスでの集合を中止し、事前に各部署から意見聴取を実施し、内容に沿ってプランの見直しを実施した。

ご本人、または身元引受人様にケアプランを確認頂き、サービス計画書1(フ

エースシート)に署名を頂き、実施の承認を得た。

ご本人やご家族の要望・意向は、ケアプランに反映させ支援相談課・介護課・看護課・管理栄養士・理学療法士が情報を共有する事で実現に努めた。

ケアプラン開始後は、各フロアーへ出向き職員からの情報や直接ご本人の状態確認を通して、小さな変化の発見や現状把握に努めた。

入所者の身体状態、精神活動状態に著しい変調が見られた場合、相談員と連携しご家族へ連絡し、場合によっては来苑頂き、対応の相談を行った。

リスクのある処遇の変更に関しては、メリット・デメリットをお伝えし、ご家族の意向に沿った処遇に決定し、状態観察を行い経過を伝えるようにした。

新入所の方の新規ケアプラン **26** 件作成実施した。

◆ 家族連絡について

昨年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大により、面会が中止となった期間は、事務所職員にて協力しご家族様への電話を希望される方の電話対応やLINE ビデオ通話の対応を行いご家族様と利用者様をつなぐ支援をした。

利用者様の写真撮影、コメントを添えてのご家族様への郵送対応については介護部が不定期で作成しているフォトレター作成の確認・監修協力している。

玄関での面会の再開の都度、感染症対策に配慮しつつ、近況を伝えたり、なかなか指示が入らない認知症の方の場合は近くに寄り添って対応をした。

昨年度も公式 LINE アカウントを活用して、登録者への面会中止再開の一斉通知に活用した。希望者には写真のメールによる送付を実施した。

◆ 看取りについて

| | | |
|-------------|----------------|-------------|
| 看取り件数 | 令和 5 年度 | 4 名 |
| 看取りのカンファレンス | 令和 5 年度 | 15 回 |
| デスカンファレンス | 令和 5 年度 | 2 回 |

※看取り介護診断が出た翌日永眠された方については、看取り介護加算算定せず、看取り介護委員会にはかかるがデスカンファレンスは実施していない。

介護部のアセスメントシートを元に看取りのケアプランを作成し、カンファレンス前に各部署に聞き取りを行い、モニタリングを実施。定期的(週1回)にプランを見直し、状態変化時も臨時でカンファレンスを開催し処遇の見直しを実施した。

看取り介護期間中は毎日午前・午後で申し送りを実施し、ご家族様への状態報告を行った。

週1回の主治医の往診時に可能な時は立ち合い、カンファレンスで相談があった内容を囑託医に確認し、カンファレンス時に報告、診察やカンファレンスの内容をご家族様へ伝達するよう努めた。

看取り終了後は、デスカンファレンスを開催し、次回に生かせるように振り返りを行った。

ご家族からのアンケートの回収が遅れた事や、新型コロナクラスターや職員の体調不良に伴う関係者の不在により、デスカンファレンスの開催が予定通りにはできなかった。

◆ご利用者様の意向について

定期ケアプラン前に利用者様にお話しを伺い、ご本人様の生活の意向や終末期の意向及び今までの生活歴や趣味を伺い、プランに活かせるよう情報収集を行った。

今後終末期に携わることが増えていく中で、ご家族様とご本人様の意向のすり合わせをして、ご本人様の望む生活に少しでも近づけるようなプランをたてることができるように努めます。

相談部としては毎年 8 月と 1 月に身元引受人様に終末期の意向について定期的な確認を継続実施している。

(4) 居宅介護支援

〈総括〉

新型コロナウイルスの取り扱いが令和5年5月より5類に変更となった。これまでのコロナ禍に伴う特例措置の影響で業務の効率化が図れていたが、ケアマネジャー業務や多数の研修が訪問・面談中心のスタイルに戻ってきている。状況に応じた業務体制を構築していくこととなった。

しかしながら、地域的に感染症発生時、感染が心配された時期においては在宅訪問、サービス事業所・医療機関への訪問は緊急時及び必要時にとどめ、電話・文書などの代替手段としてご利用者への対応の方法は今後も必要と判断している。

居宅介護支援事業所としてはケアマネジャー2名の感染症の感染はなかった。

ご利用者においては5月以降で新型コロナウイルス感染者は1名あった。繰り返し感染予防に留意し支援に努めた。

令和2年度7月より常勤1名、非常勤1名体制がスタートしている。内部、外部研修に参加して、時間をかけながらではあるが、資質向上を目指している。外部研修は最近ではZOOMでの開催方法が増加してきている。感染予防もでき、令和4年度においても積極的な研修参加ができています。(会場27件 ZOOM 4件)

この中で1名 主任介護支援専門員更新研修(9月～11月)、1名 介護支援専門員 専門課程Ⅱの更新研修(7月～12月)の修了をしている

平成28年6月から、名古屋市においては介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)が開始されている。多様な生活支援のニーズに地域全体で考えていくため、これまでと同様のサービスに加え、多様な担い手による新しいサービスを提供していくこととなったため、引き続き情報収集に努め利用者や介護者に適切な情報提供に取り組んでいる。

介護予防支援については、「本人のできることは出来る限り本人が行う」に引き続き心がけ継続して取り組むことができた。

サービス担当者会議や再アセスメント、モニタリング、サービス事業者への評価確認の実施も継続する事ができた。各種情報収集にも力を注ぎご利用者やご家族に対して適切な提供ができています。

〈介護保険サービス利用・その他相談について〉

介護保険サービスに関する相談やその他高齢者支援サービスについての相談、依頼においては随時対応し、各種サービス、関係市町村や他の居宅支援事業者との連携等、柔軟な対応を行った。利用者を介護している家族も高齢となり、介護者自身の健康面や保険外サービスの相談を受ける事も多くなってきている。

また、独居生活の利用者に対しては、緊急時の対応、緊急連絡先、近隣との関係などの確認を行なった。

あわせて、応答がない場合の訪室手段の確認も行っている。

民生委員との連携にも着手しているが、引き続きの今後の課題である。

依頼が多くなってきた千種区東部いきいき支援センター及び分室との連携で、男性独居でゴミ屋敷相当の案件について昨年度に続き 1 件 分室と取り組んでいる。

<ケアプランについて>

家族への支援にも着目し再度利用者のアセスメントを実施しケアプランを見直すことが出来た。同時にかかりつけ医師や各サービス事業者へも訪問、文書、電話、FAX にて照会、相談及び意見を求めることも出来た。

<サービス担当者会議>

全てのサービス事業者・かかりつけ医出席での担当者会議は、調整が困難であり、一部の参加により実施する担当者会議となったが、介護認定更新や身体状況の変化によるサービス内容の変更においてサービス担当者会議を実施することができた。

また必要に応じて随時、専門的視点からの意見を求めるための開催も行っている。

尚、サービス担当者会議に出席できない事業者においては、事前に書面で回答をいただくことで当日の担当者会議において情報提供をすることに努めた。

<ご利用者居宅訪問について>

毎月最低 1 回は確実に訪問し、継続して状況把握に努めた。ただし新型コロナウイルス感染予防期間を省く。

※ 高齢者のみの世帯、独居生活の世帯に関しては、引き続き、介護保険サービス利用日以外にも意識的に訪問を実施、介護者やサービス事業者と密に連携をとる事で安否確認に努めた。

<情報収集や質の向上について>

名古屋市介護サービス事業者連絡研究会などへの参加により、他ケアマネジャーやサービス事業者との連携を維持し、定期開催のケアマネサロンや資質向上テーマの研修への出席、また、インターネットを利用することで情報収集やケアマネジメントサービスの質の向上に努めた。

新型コロナウイルスの感染拡大予防により本来開催される予定の会議、研修は現在ではリモートでの開催が頻繁に行われている。結果としては例年よりも多くの研修参加が可能となり、さらなる自己研鑽に努めている。

<居宅介護支援担当者数について>

個々のケースについて、居宅サービス計画の検討・作成・最低月 1 回の利用者宅訪問・家族との情報交換・毎月のモニタリング及びサービス担当者会議の開催又は、担当者に対する照会等の継続により深く関わりを持つことができた。

今年度の新規契約者は 12 件、支援修了者が 10 件であった。終了事由の内訳としては永眠 3 名、区分変更 2 名、サービス終了希望 1 名、特養入所 2 名、老健入所 1 名、サ高住入居 1 名。

ご利用者及びご家族からは、事情により在宅での介護生活が困難となったケースや医療機関からは退院後の在宅生活が望めず今後の生活場所の確保のため相談を受ける案件が増えてきている。地域での救済支援のため併設のショートステイ担当者と連携を図り、やむ得ない事情によりショートステイ連続利用を続けながら、特別養護老人ホームの入所待機とする対応に引き続き取り組んでいる。ご利用者にとっては必要な支援として今後も継続していく。

今後も安定した経営のために年間を通じて安定した契約件数確保が課題となっている。

現状としては身体状況の変化による入退院の件数も引き続き多く、認知症の進行や身体面の重度化、介護事情に伴う施設入所への至るケースも多くなってきている。

それとは逆に在宅での看取り希望の対応ケースも近年の特徴と思われる。

新規依頼があれば迅速な居宅訪問を心がけ、常に受け入れに努めていく。

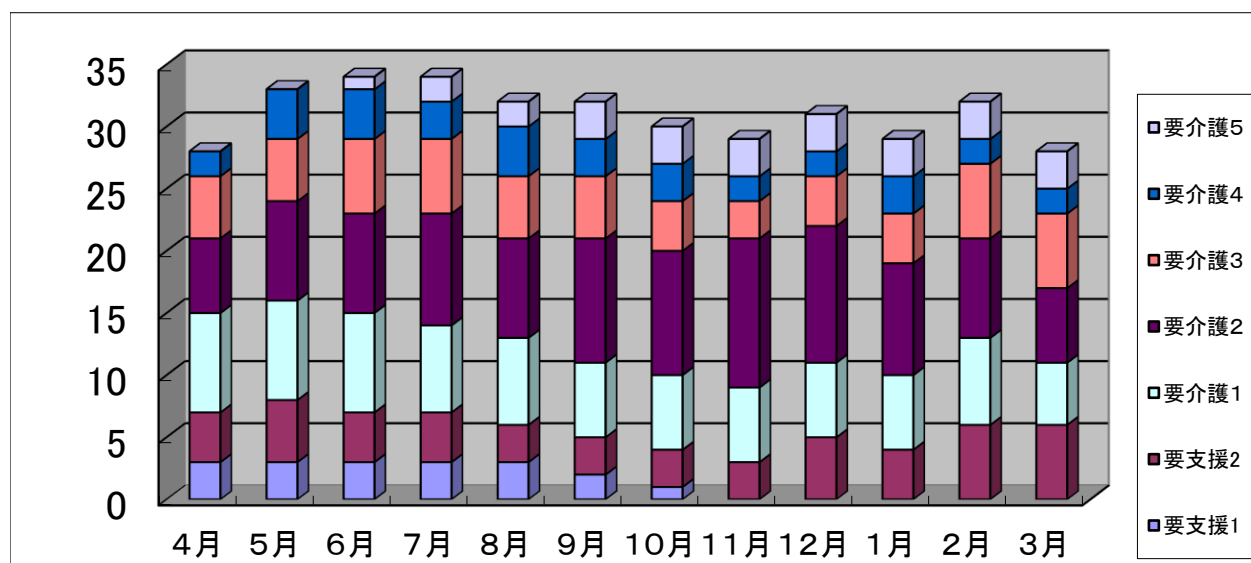
新年度に入っても、常に資質向上に努め、親切丁寧な相談・支援を継続できるように体制づくりに取り組んでいきたい。

令和 5 年度末の担当利用者の件数は 33 名となっている。(要介護 26 名・要支援 7 名)

今年度については要介護者の担当件数が増えたことにより収益増加が図れた。

令和5年度居宅介護支援(ケアプラン)担当数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 要支援1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| 要支援2 | 4 | 5 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 5 | 4 | 6 | 6 | 50 |
| 予防支援計 | 8 | 9 | 9 | 9 | 8 | 6 | 6 | 7 | 6 | 8 | 5 | 8 | 68 |
| 要介護1 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 5 | 80 |
| 要介護2 | 6 | 8 | 8 | 9 | 8 | 10 | 10 | 12 | 11 | 9 | 8 | 6 | 105 |
| 要介護3 | 5 | 5 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 3 | 4 | 4 | 6 | 6 | 59 |
| 要介護4 | 2 | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 34 |
| 要介護5 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 26 |
| 介護支援計 | 21 | 25 | 27 | 27 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 25 | 26 | 22 | 304 |



令和5年度 居宅介護支援事業所 内部・外部研修報告

| 日程 | 時間 | 場所 | 内容 |
|--------|-------------|----------------|---------------------------|
| 4月17日 | 14:00-17:00 | 伏見ライフプラザ | 名会研総会 第1回例会 |
| 6月3日 | 1330-1600 | 刈谷市産業振興センター | 主任ケアマネ 事例提出説明会 |
| 7月13日 | 12:30-13:30 | 千種区在宅センター | ケアマネサロン 入所施設交流会 |
| 8月4日 | 18:30-20:00 | ZOOM | 愛知県居宅介護支援事業所連絡協議会 BCP策定研修 |
| 8月18日 | 13:30-16:30 | 千種区休日急病診療所 | 千種区東西合同ケアマネサロン BCP研修 |
| 9月13日 | 9:00-12:00 | YOUCHHUBE LIVE | 介護保険指定事業者講習会（集団指導） |
| 9月29日 | 10:00-17:00 | 刈谷市民ホール | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 10月5日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 10月11日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 10月17日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 10月18日 | 10:00-12:00 | 名古屋市公会堂 | 名古屋市認定調査員研修 |
| 10月24日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 10月30日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 11月14日 | 10:00-17:00 | 刈谷中央生涯学習センター | 令和5年度 愛知県主任介護支援専門員更新研修 |
| 7月29日 | 10:00-17:20 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 7月30日 | 10:00-17:20 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 8月6日 | 10:00-18:00 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 8月27日 | 10:00-18:00 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |

| | | | |
|--------|-------------|------------|-----------------------------------|
| 9月3日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 9月10日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 9月17日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 9月18日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 9月30日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 11月11日 | 9:20-17:40 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 11月12日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 12月2日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 12月3日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 12月16日 | 10:00-17:30 | 第一富士ビル | 令和5年度 介護支援専門員更新研修 |
| 3月8日 | 13:00-15:00 | ZOOM | 令和5年度 第2回 介護保険指定事業者講習会（集団指導） |
| 3月12日 | 13:00-16:00 | 千種区社会福祉協議会 | ○千種区介護保険事業者連絡会 在宅介護における身体拘束と高齢者虐待 |
| 3月15日 | 14:00-15:30 | ZOOM | 名会研 第5回例会 令和6年度処遇改善加算について |

※〇…主任ケアマネ更新研修受講用件②に該当。青は管理者の参加。白は介護支援専門員の参加。

2 令和5年度地域における公益的な取り組み計画に関する事業報告

コロナウイルスも5類に分類され、以前より対応が緩和されました。
少しずつ以前のような受入が行えるよう、感染予防を行いつつ実施した。

「藤美苑を地域に知ってもらう会」

大きく活動は行えないが、世間の状況を確認しつつ実施に向け行動した

1 藤美苑における地域への公益的な取り組み

- ・自由が丘教会からのふれあい訪問を予定し、打ち合わせも実施したが施設内でコロナ陽性者が出たため中止となる。(9月)
- ・猪子石中学生福祉体験学習に12名が来苑し、藤美苑と福祉について学んでもらいました。(1月)

2 認知症カフェの開催

2・3月と実施し好評でした。

3 地域へサロンとして場所を提供する

淑徳大学コミュカフェにサロンの場を提供する。(1月)

4 「棒の手」の開催

今年も棒の手の開催は見送った。

5 社会福祉協議会、地域包括支援センターへの協力

サロンの開催、ボランティアの再開についてコンタクトを取った。

6 ボランティアの受け入れ

- ・愛工大名電高校バスケット部の生徒によるボランティア活動を受け入れた。(7月)
- ・サマーボランティア活動にて高校生のボランティアを夏祭りで受け入れた。(8月)
- ・個人ボランティア2名受け入れた。(1名11月～、1名2月～)

7 茶屋ヶ坂公園前歩道の落ち葉拾い清掃について

活動日が取れず実施しませんでした。

8 その他

- ・夏祭り地域開放は、昨年同様夏祭り自体を縮小して行った為地域開放は中止としました。
- ・「こども110番の家」「はいかい高齢者おかえり支援事業」へ参加は継続して行い、地域の貢献に努めました。

3 介護

介護についての事業報告

介護課の目標

5月より国の方針によりコロナの感染症分類が2類→5類に引き下げられました。標準予防策を中心にした感染症予防の徹底に努めてきましたが、コロナ対応が3回あり、それぞれ以下の詳細になっております。

詳細

コロナ報告 1回目

7月30日 ご利用者コロナ陽性1名確認。

個人防護具をフェイスシールド、N95マスク、ヘアキャップ、袖付きガウン
シューズカバー、ディスポグローブ2重

8月9日 コロナ対応終了。

コロナ報告 2回目

8月28日 ご利用者コロナ陽性者2名確認。うち1名医療機関へ入院

個人防護具をフェイスシールド、N95マスク、ヘアキャップ、袖付きガウン
シューズカバー、ディスポグローブ2重

8月29日 ご利用者コロナ陽性者2名確認。

8月30日 ご利用者コロナ陽性者4名確認。

8月31日 ご利用者コロナ陽性者4名、職員2名確認。

9月8日 コロナ対応終了。

コロナ報告 3回目

9月15日 ご利用者1名コロナ陽性者確認。

個人防護具をフェイスシールド、N95マスク、ヘアキャップ、袖付きガウン
シューズカバー、ディスポグローブ2重

9月16日 ご利用者1名コロナ陽性者確認。

9月17日 ご利用者2名コロナ陽性者確認。

9月18日 ご利用者2名コロナ陽性者確認。

9月19日 ご利用者1名コロナ陽性確認。

9月29日 コロナ対応終了。

1, 余暇の充実

一般レクリエーション

1F

4月—3回 (参加人数延べ41人)

5月—5回 (37人)

6月—3回 (44人)

7月—2回 (24人)

8月—0回（0人）
9月—2回（40人）
10月—27回（93人）
11月—15回（62人）
12月—7回（49人）
1月—2回（49人）
2月—4回（8人）
3月—2回（54人）

2F

4月—10回（17人）
5月—11回（15人）
6月—8回（22人）
7月—6回（9人）
8月—15回（30人）
9月—14回（30人）
10月—14回（33人）
11月—8回（13人）
12月—10回（12人）
1月—25回（46人）
2月—15回（29人）
3月—33回（77人）

3F

4月—14回（120人）
5月—22回（143人）
6月—33回（218人）
7月—20回（73人）
8月—21回（29人）
9月—18回（53人）
10月—33回（41人）
11月—31回（44人）
12月—14回（22人）
1月—22回（72人）
2月—27回（121人）
3月—17回（30人）

リモート外出の実施

8月、2月の2回、インターネットやTV画面を利用し、その場に行った雰囲気味わって頂けるよう工夫したリモート外出を実施することが出来ました

タブレット、インターネット動画の利用

基本はそれぞれが見たいものを見て頂く利用方法が主ですが、時にはフロアのテレビを用いて大画面で、複数名での鑑賞や食事時の BGM のような使い方も出来ました。

外出の実施

コロナが 5 類へ引き下がり、近隣の公園などへの外出を実施することが出来ました。あじさいルート、もみじルートなど季節で見頃の植物が楽しめるようにしました。

2, 食事

コロナが 5 類になり、仕切り板とソーシャルディスタンスは解除することが出来ました。その他は概ね記載の通りの対応を行うことが出来ています。

3, 排泄

概ね記載の通りの対応を行うことが出来ました。

排泄に関する加算は、担当看護師から依頼されるケースが無かったので 0 件でした。

4, 入浴

コロナ対応の影響から、通常通り行えず、体拭・衣類交換または全面中止となった期間があった。

「毎月 1 回入浴希望者の方に入浴して頂く」については実施することができませんでした。今後入浴について新たな企画を立てて実施していきます。

5, 拘束・虐待

精神科医からの助言も得つつ委員会も進行しており、苑内では拘束はありませんでした。規定の研修も全て実施済みです。

虐待については利用者への不適切ケア 1 件ありました。委員会にて取り扱い、虐待防止改善計画書をもとに当該職員へ対応中です。

6, 環境

コロナが 3 回発生しましたが、シーツ交換は記載通り実施出来ています。また、年 2 回のショッピングについては感染症予防の観点から開催できませんでした。

7, 記録の徹底

概ね記載の通り実施することが出来ました。回覧物についてもラインワークスを使用することで円滑に情報共有することが出来ています。また、ペーパーレスにも取り組んでいます。LIFE について、各フロアで一年ごとに新たに LIFE 担当を育成するプランとしては上手く引き継ぎが行えています。

8, 介護の充実

介護課会議は、4 月、5 月、6 月×2 回、8 月、9 月×2 回、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月に実施しています。感染症の影響や職員の欠勤から毎月 2 回の実施出来ない月が多かったです。

外出担当者会議

外出担当者会議は4月、5月、8月、10月、11月、12月、1月に実施しています。感染症の影響や職員の欠勤から毎月の実施は出来ませんでした。リモート旅行や今後の為の外出先の下見も同様の理由で中止することがありました。

CS 意見交換会

4月に実施しています。勤務変更等の理由により会議の実施がほとんど出来ませんでした。

排泄担当者会議

5月、6月、8月、10月、12月、1月に会議実施しています。今年度はパットの値段が上がりと利用者の重度化の影響でパットの費用を抑えることが難しかったですが、一昨年度に導入したパットが比較的成本パフォーマンスが良い為、大幅なコスト上昇は防げました。排泄支援加算対象者が出た場合のバックアップ担当でもありましたが、担当看護師からの依頼が無かったので、未実施でした。

入浴担当者会議

7月、8月、10月、11月、1月に実施しています。物品の検討・購入と一般浴改修後にご利用者が困らないように入浴出来る工夫を行い、安全に入浴して頂いています。

認知症ケアミーティング

4月、5月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月に実施しています。新人研修、中堅職員研修の対象職員を定め実施に取り組んだが、職員の欠員等で予定通りは進められませんでした。認知症悪化防止プログラムを活用し、利用者一人ひとりに適したケアを実践しました。

褥瘡予防ミーティング

5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月に実施しており、概ね問題なく実施出来ています。予防の観点からも褥瘡になる方は限定的でミーティングは機能していたと思います。

レクリエーションミーティング

4月、5月、8月、9月、10月、12月、1月に実施しています。上記に記載の各フロアでのレクリエーションやおやつレク等の計画や振り返りを行いました。また、個別レクの充実を図りながら、全利用者が毎月最低一回はレクに参加出来るような環境を整えました。

9、認知症の方に対して

「認知症の BPSD による分類」や回想法を用いて認知症に取り組みました。看護課との連携は出来なかった為、今後は認知症ケアミーティングも看護職員も参加してもらい、認知症ケアの協力を図っていきます。

10、廃用性症候群の予防と対応

コロナ対応で臥床での生活を余儀なくされ褥瘡が悪化してしまった方がおられました。褥

瘡予防ミーティングを通してフロアーと医務とで連携し的確なアプローチを行い、ほぼ治癒することが出来ました。今後も専用のエアーマットやリースクッションを導入し褥瘡予防に努めていきます。

1 1、事故の予防・管理

前年度は骨折事故としては 2 件でしたが、ヒューマンエラーによる内出血斑や皮膚めくれが目立っており、フロアーでの注意喚起や対策の検討を行い、再発の予防に努めました。また、ヒヤリハットの強化を行い、危険に対しての意識の強化と事故を未然に防ぐ努力も行ってきました。直接的な原因の排除と併せて、業務の改善や環境整備を日頃から意識しながら、今後も対応を検討していきます。

1 2、感染症予防・管理

7月、8月、9月に発生したコロナの反省点等冒頭内容を参照。

職員、職員の家族の体調管理、また体調不良時に休みやすい環境を作るなど、出来る範囲での取り組みは、しっかりと結果を出していた。コロナに感染した職員や職員の家族がいた為、国の定めた自宅療養の期間を確保し、さらなる感染と拡大の予防に努めた。

1 3、家族とのコミュニケーションの充実

事務所前にてアクリル板越しでの面会と写真付きの手紙の送付を引き続き行っています。感染症対応の引き下げにより、アクリル板なしでの面会も再開しています。

1 4、看取りについて

介護として今年度、看取り対応となった方については概ね円滑に行っていた。

研修、勉強会という点では、取り組むことが出来なかったのが、今後の課題になる。

入所者の状況

年齢別表(R6.3.31)

| 年齢 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 | | | | | | | | | | 2 | |
| 女 | | | | | | | | | | | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |

| 年齢 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| 女 | | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | 3 | |
| 計 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 3 | 1 |

| 年齢 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | 1 | |
| 女 | 1 | | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 | 5 | 2 | 6 |
| 計 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 5 | 5 | 3 | 6 |

| 年齢 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 男 | | | | | | | 1 | | 1 | |
| 女 | 5 | 6 | 2 | 4 | 2 | 3 | 4 | 3 | | 1 |
| 計 | 5 | 6 | 2 | 4 | 2 | 3 | 5 | 3 | 1 | 1 |

| 年齢 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男 | | | | | | |
| 女 | 1 | | | | | |
| 計 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 78 |

平均年齢 88.3歳 (男性 82.25 歳 女性 89.5歳)

月別面会者数(R5.4.1～R6.3.31)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|-----|---------|-----|-----|-------|----|---------|-----|------|-----|-------|-----|
| 人数 | 179 | 245 | 247 | 256 | 225 | 82 | 170 | 207 | 242 | 238 | 216 | 231 |
| 合計 | | 2,538 人 | | | 1か月平均 | | 211.5 人 | | 1日平均 | | 6.9 人 | |

※下記期間にて、利用者及び職員の新型コロナ陽性診断により、面会を中止としていた為、面会数が減少している。尚、面会中止中は、事務所職員も居室へ訪室できない為、LINEアプリを使用したビデオ通話での面会も実施していない。

①令和5年8月29日から9月13日

資料

(1)入退所の状況(人)

| | R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 退所者 | 26 | 19 | 21 | 19 | 29 |
| 新規入所者 | 26 | 19 | 20 | 22 | 26 |

(2)入所者の年齢別(各年度末・人)

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|--------|---------|-------|-------|------|-------|
| 70歳未満 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 70～ | 4 | 3 | 3 | 1 | 2 |
| 75～ | 8 | 9 | 5 | 7 | 8 |
| 80～ | 30 | 31 | 33 | 30 | 27 |
| 90～ | 33 | 34 | 36 | 40 | 37 |
| 100歳以上 | 4 | 2 | 1 | 2 | 2 |
| 合計 | 79 | 79 | 78 | 81 | 78 |
| 平均年齢 | 87.8 | 88.54 | 88.54 | 88.9 | 88.3 |
| 男平均年齢 | 84.3 | 82.83 | 82.83 | 84.2 | 82.25 |
| 女平均年齢 | 88 | 89.01 | 89.01 | 89.5 | 89.5 |

(3)入所者の性別(各年度末・人)

| | R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男 | 4 | 3 | 6 | 10 | 12 |
| 女 | 75 | 76 | 72 | 71 | 66 |
| 合計 | 79 | 79 | 78 | 81 | 78 |
| 女性の割合 | 95% | 96% | 92% | 88% | 85% |

最高 102 歳
最低 69 歳

(4)入所者のADL(年度末時点の人数)

入浴

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一部介助 | 30 | 37 | 41 | 27 | 35 |
| 全介助 | 49 | 42 | 37 | 54 | 43 |

着脱衣

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 7 | 3 | 6 | 2 | 6 |
| 一部介助 | 25 | 35 | 35 | 31 | 31 |
| 全介助 | 47 | 41 | 37 | 48 | 41 |

排泄(昼)

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 8 | 4 | 3 | 0 | 1 |
| 一部介助 | 33 | 33 | 31 | 29 | 28 |
| 全介助 | 38 | 42 | 44 | 52 | 49 |

食事

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 38 | 35 | 24 | 21 | 28 |
| 一部介助 | 20 | 19 | 29 | 36 | 29 |
| 全介助 | 21 | 25 | 25 | 24 | 21 |

排泄(夜)

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 2 | 5 | 1 | 0 | 1 |
| 一部介助 | 22 | 28 | 17 | 14 | 4 |
| 全介助 | 55 | 46 | 60 | 67 | 63 |

体位変換

| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 20 | 37 | 25 | 14 | 24 |
| 一部介助 | 32 | 18 | 30 | 25 | 26 |
| 全介助 | 27 | 24 | 23 | 42 | 28 |

室内移動

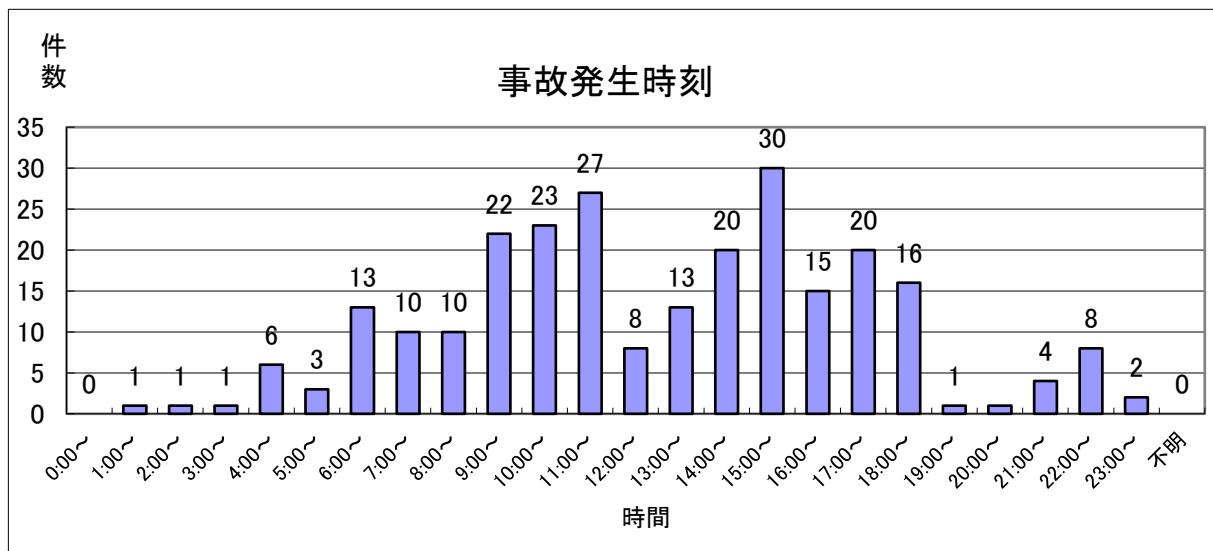
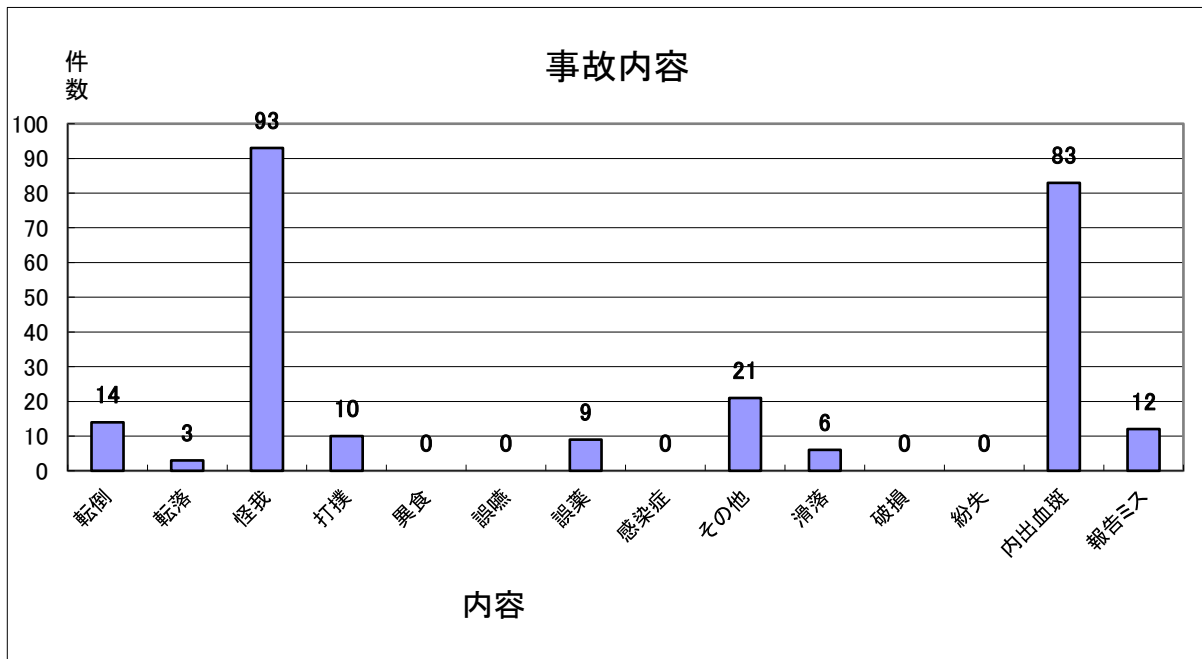
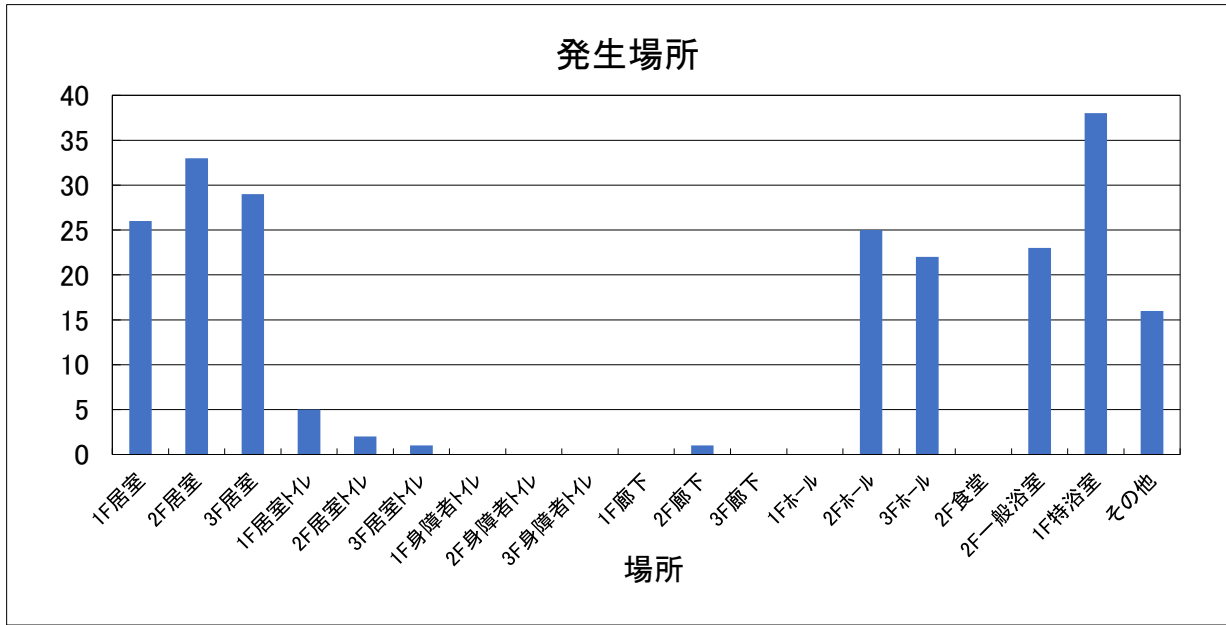
| | H31/R1年 | R2年 | R3年 | R4年 | R5年 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 自立 | 17 | 5 | 9 | 5 | 3 |
| 一部介助 | 19 | 28 | 12 | 23 | 16 |
| 全介助 | 43 | 46 | 47 | 53 | 59 |

令和6年3月31日 現在

令和5年度 事故報告数・結果一覧

| 時刻 | 時刻 | 件数 | 時刻 | 件数 | 場所 | 件数 | 内容 | 件数 |
|---------|--------|----|--------|-----|----------|----|------|-----|
| >=0:00 | <1:00 | | 0:00～ | 0 | 1F居室 | 26 | 転倒 | 14 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 1:00～ | 1 | 2F居室 | 33 | 転落 | 3 |
| >=1:00 | <2:00 | | 2:00～ | 1 | 3F居室 | 29 | 怪我 | 93 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 3:00～ | 1 | 1F居室トイレ | 5 | 打撲 | 10 |
| >=2:00 | <3:00 | | 4:00～ | 6 | 2F居室トイレ | 2 | 異食 | 1 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 5:00～ | 3 | 3F居室トイレ | 1 | 誤嚥 | 0 |
| >=3:00 | <4:00 | | 6:00～ | 13 | 1F身障者トイレ | 0 | 誤薬 | 9 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 7:00～ | 10 | 2F身障者トイレ | 0 | 感染症 | 0 |
| >=4:00 | <5:00 | | 8:00～ | 10 | 3F身障者トイレ | 0 | その他 | 21 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 9:00～ | 22 | 1F廊下 | 0 | 滑落 | 6 |
| >=5:00 | <6:00 | | 10:00～ | 23 | 2F廊下 | 1 | 破損 | 2 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 11:00～ | 27 | 3F廊下 | 0 | 紛失 | 1 |
| >=6:00 | <7:00 | | 12:00～ | 8 | 1Fホール | 32 | 内出血斑 | 83 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 13:00～ | 13 | 2Fホール | 25 | 報告ミス | 12 |
| >=7:00 | <8:00 | | 14:00～ | 20 | 3Fホール | 22 | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 15:00～ | 30 | 2F食堂 | 0 | 計 | 255 |
| >=8:00 | <9:00 | | 16:00～ | 15 | 2F一般浴室 | 23 | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 17:00～ | 20 | 1F特浴室 | 38 | | |
| >=9:00 | <10:00 | | 18:00～ | 16 | 医務室 | 2 | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 19:00～ | 1 | その他 | 16 | | |
| >=10:00 | <11:00 | | 20:00～ | 1 | | | 計 | 255 |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 21:00～ | 4 | | | | |
| >=11:00 | <12:00 | | 22:00～ | 8 | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 23:00～ | 2 | | | | |
| >=12:00 | <13:00 | | 不明 | 0 | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | 計 | 255 | | | | |
| >=13:00 | <14:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=14:00 | <15:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=15:00 | <16:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=16:00 | <17:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=17:00 | <18:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=18:00 | <19:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=19:00 | <20:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=20:00 | <21:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=21:00 | <22:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=22:00 | <23:00 | | | | | | | |
| 時刻 | 時刻 | 件数 | | | | | | |
| >=23:00 | <24:00 | | | | | | | |
| 不明 | | | | | | | | |

令和5年度事故発生状況



事故報告件数(H28年度～R5年度)

| 時間帯別 | R5年度 | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R1年度 | H30年度 | H29年度 | H28年度 |
|--------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 0:00～ | 0 | 1 | 5 | 2 | 10 | 5 | 11 | 5 |
| 1:00～ | 1 | 1 | 2 | 4 | 5 | 3 | 2 | 7 |
| 2:00～ | 1 | 1 | 3 | 5 | 3 | 1 | 4 | 0 |
| 3:00～ | 1 | 1 | 4 | 4 | 9 | 1 | 3 | 4 |
| 4:00～ | 6 | 5 | 3 | 3 | 5 | 7 | 5 | 6 |
| 5:00～ | 3 | 8 | 10 | 4 | 6 | 11 | 12 | 16 |
| 6:00～ | 13 | 8 | 10 | 7 | 7 | 8 | 7 | 10 |
| 7:00～ | 10 | 5 | 11 | 9 | 6 | 7 | 11 | 7 |
| 8:00～ | 10 | 8 | 6 | 7 | 11 | 8 | 4 | 9 |
| 9:00～ | 22 | 11 | 13 | 17 | 12 | 22 | 23 | 15 |
| 10:00～ | 23 | 29 | 22 | 20 | 27 | 24 | 27 | 21 |
| 11:00～ | 27 | 27 | 31 | 20 | 20 | 23 | 28 | 19 |
| 12:00～ | 8 | 8 | 8 | 5 | 12 | 17 | 7 | 10 |
| 13:00～ | 13 | 6 | 3 | 5 | 14 | 21 | 13 | 12 |
| 14:00～ | 20 | 26 | 21 | 16 | 18 | 16 | 15 | 15 |
| 15:00～ | 30 | 31 | 27 | 15 | 24 | 23 | 28 | 14 |
| 16:00～ | 15 | 13 | 15 | 8 | 17 | 20 | 12 | 13 |
| 17:00～ | 20 | 20 | 8 | 7 | 13 | 15 | 11 | 11 |
| 18:00～ | 16 | 15 | 11 | 14 | 31 | 19 | 17 | 16 |
| 19:00～ | 1 | 4 | 2 | 2 | 6 | 15 | 7 | 7 |
| 20:00～ | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 4 | 4 |
| 21:00～ | 4 | 1 | 1 | 4 | 3 | 3 | 1 | 2 |
| 22:00～ | 8 | 1 | 9 | 3 | 8 | 3 | 2 | 3 |
| 23:00～ | 2 | 1 | 3 | 4 | 3 | 5 | 7 | 9 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年度別総数 | 255 | 232 | 229 | 187 | 277 | 266 | 261 | 235 |

| 場所別 | R5年度 | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R1年度 | H30年度 | H29年度 | H28年度 |
|----------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 1F居室 | 26 | 16 | 21 | 17 | 20 | 22 | 25 | 22 |
| 2F居室 | 33 | 32 | 27 | 34 | 30 | 28 | 28 | 23 |
| 3F居室 | 29 | 31 | 34 | 26 | 36 | 43 | 52 | 44 |
| 1F居室トイレ | 5 | 2 | 3 | 2 | 9 | 2 | 9 | 3 |
| 2F居室トイレ | 2 | 1 | 1 | 4 | 9 | 6 | 5 | 3 |
| 3F居室トイレ | 1 | 2 | 1 | 5 | 5 | 3 | 3 | 6 |
| 1F身障者トイレ | 0 | 1 | 0 | 2 | 5 | 4 | 0 | 3 |
| 2F身障者トイレ | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 3F身障者トイレ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1F廊下 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 2F廊下 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 2 | 1 | 3 |
| 3F廊下 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 3 |
| 1Fホール | 32 | 18 | 20 | 9 | 33 | 32 | 26 | 18 |
| 2Fホール | 25 | 26 | 15 | 14 | 8 | 24 | 11 | 14 |
| 3Fホール | 22 | 21 | 34 | 21 | 48 | 53 | 54 | 43 |
| 2F食堂 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 3 |
| 2F一般浴室 | 23 | 24 | 23 | 12 | 19 | 23 | 13 | 7 |
| 1F特浴室 | 38 | 34 | 24 | 21 | 23 | 12 | 20 | 16 |
| その他 | 16 | 20 | 20 | 16 | 21 | 16 | 9 | 24 |
| 年度別総数 | 255 | 232 | 229 | 187 | 277 | 277 | 261 | 235 |

| 内容別 | R5年度 | R4年度 | R3年度 | R2年度 | R1年度 | H30年度 | H29年度 | H28年度 |
|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 転倒 | 14 | 16 | 19 | 34 | 54 | 43 | 50 | 40 |
| 転落 | 3 | 7 | 6 | 8 | 12 | 7 | 6 | 7 |
| 怪我 | 93 | 80 | 56 | 45 | 49 | 64 | 64 | 113 |
| 打撲 | 10 | 12 | 20 | 6 | 18 | 34 | 56 | 17 |
| 異食 | 1 | 6 | 0 | 1 | 4 | 4 | 6 | 2 |
| 誤嚥 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 誤薬 | 9 | 6 | 1 | 0 | 2 | 2 | 6 | 6 |
| 感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 21 | 12 | 20 | 13 | 29 | 43 | 56 | 35 |
| 滑落 | 6 | 10 | 12 | 19 | 23 | 16 | 16 | 12 |
| 破損 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 |
| 紛失 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 内出血斑 | 83 | 64 | 76 | 43 | 62 | 44 | ／ | ／ |
| 報告ミス | 12 | 17 | 15 | 18 | 17 | 13 | ／ | ／ |
| 年度別総数 | 255 | 232 | 229 | 187 | 277 | 198 | 245 | 223 |

※平成30年度報告より、「感染症」「破損」「紛失」「内出血斑」「報告ミス」の項目を追加

4 看護

<健康管理について>

- ① 月1回 体重測定実施し、管理栄養士と連携を図る事で健康管理を徹底した。
- ② 年1回 健康診断実施（レントゲン撮影：6月・採血：11月）
異常者に関しては嘱託医と相談し対応おこなった。

<健康状態の把握について>

嘱託医診察（週2回 火曜・金曜日 13:00～）を通して、日常生活における相談及び対応指示を頂き健康状態の安定に努めた。

<疾病予防について>

疾病の早期発見・早期治療に努めた。

<救急対応について>

緊急の場合は、救急車対応にて医療機関へ受診を行い、適切な治療をうけられるよう努めた。

<精神科医指導について>

小林メンタルクリニック（月2回 第1・3火曜日 14:30～）による指導のもと対応する事が出来た。

<耳鼻科について>

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため6月より新たに ばば耳鼻科に往診に来て頂くこととなった。感染症が出た関係で9月は休診したがその他の月は来て頂き毎回15名程を診て頂いた。

<受診状況について>

嘱託医診察の結果、他科受診の必要性がある場合、外来受診を実施し、適切な対応を図った。（実績は別表参照）

<疾病状況について>

入所者の疾病状況については別表参照。

<看護記録について>

記録の漏れ、重複の無いよう行い、それら情報の共有に努めた。

<胃ろうについて>

胃ろう増設者の交換等の対応、提携協力医療機関と連携を図って滞りなく行うことができた。

<重度化について>

看取り期に差し掛かりつつある利用者のご家族への説明と精神面への援助を行うと

共に延命等を含めた意思確認も書面をもって行えた。
特養だけでなく、ショートステイ利用者に関しても医療依存度の高い方の受入れが出来るように努めた。

<褥瘡について>

褥瘡対策委員会・褥瘡対策ミーティングを通じ、他職種と連携を図り適切な対応の検討がなされるように情報の共有を図る事ができた。

<入院者数について>

常日頃からの健康管理に努め、入院者数の軽減に努めた。想定平均入院者数以下で年度を終えられた。理由ははっきりしないがコロナ禍以降の方が急変・体調不良者の出現が多くなってきている。入院されると帰苑困難な方が年度末になって急増しました。

<看取りについて>

先生より看取り診断がついた方について苑全体で取り組み、概ね適切に対応出来た。

<新型コロナウイルスについて>

何度かクラスター化を生じる事はあったが世間の一般的な状況を逸脱するような感染状況には至らせずに徐々に終息させていくことが出来た。
必要な予防接種も希望者全員に接種出来た。

<看護職員定着について>

今年度においても看護職員の入れ替わりは少なくなかったが、年度末には（新人が多数ではあるが）安定したチーム状況が構築出来てきた。

尚、添付の諸表は令和5年4月1日から令和6年3月31日迄のものとなっています。

表 入所者の主要疾病状況

(R6.3.31)

| 疾病名 | 人数 | 疾病名 | 人数 |
|----------|----|---------------|----|
| 認知症 | 63 | 狭心症 | 3 |
| 便秘症 | 53 | リウマチ | 3 |
| 高血圧症 | 42 | 前立腺肥大 | 3 |
| 脳梗塞後遺症 | 23 | 硬膜下血腫 | 3 |
| 骨粗鬆症 | 17 | 構音障害 | 3 |
| 心不全 | 16 | 脂質異常 | 2 |
| 糖尿病 | 14 | 尿閉 | 2 |
| 高脂血症 | 11 | パーキンソン症候群 | 2 |
| 白内障 | 11 | 甲状腺機能低下症 | 2 |
| 脳出血後 | 10 | 類天疱瘡 | 2 |
| てんかん | 8 | イレウス | 2 |
| 嚥下障害 | 6 | 肺気腫 | 1 |
| 心房細動 | 5 | 完全房室ブロック | 1 |
| 逆流性食道炎 | 5 | びまん性神経現線維変化症 | 1 |
| 胃ろう造設後 | 4 | 頸椎後縦靱帯骨化症 | 1 |
| 廃用症候群 | 4 | 大腸憩室 | 1 |
| 変形性膝関節症 | 4 | 大動脈弁狭窄症 | 1 |
| 慢性胃炎 | 4 | 拡張型心筋症 | 1 |
| 過活動膀胱 | 4 | パーキンソン症候群 | 1 |
| 慢性腎臓病 | 4 | 子宮留膿症 | 1 |
| 貧血 | 4 | 脳動脈閉塞症 | 1 |
| 喘息 | 3 | 慢性膀胱炎 | 1 |
| 難聴 | 3 | 水頭症 | 1 |
| 乳がん | 3 | メニエール病 | 2 |
| 脊柱管狭窄症 | 3 | 偽痛風 | 1 |
| 鬱病 | 5 | 乏突起膠腫 | 1 |
| 緑内障 | 5 | 解離性障害 | 1 |
| 小脳膠芽腫 | 1 | ペースメーカー埋め込み術後 | 1 |
| 全盲 | 1 | 前立腺がん | 1 |
| 不安神経症 | 1 | 下肢切断術後 | 1 |
| 低ナトリウム血症 | 1 | 低カリウム血症 | 1 |
| 頸椎損傷 | 1 | 慢性気管支炎 | 1 |
| アレルギー性鼻炎 | 1 | | |
| 大腸癌 | 1 | | |

表 入所者受診状況

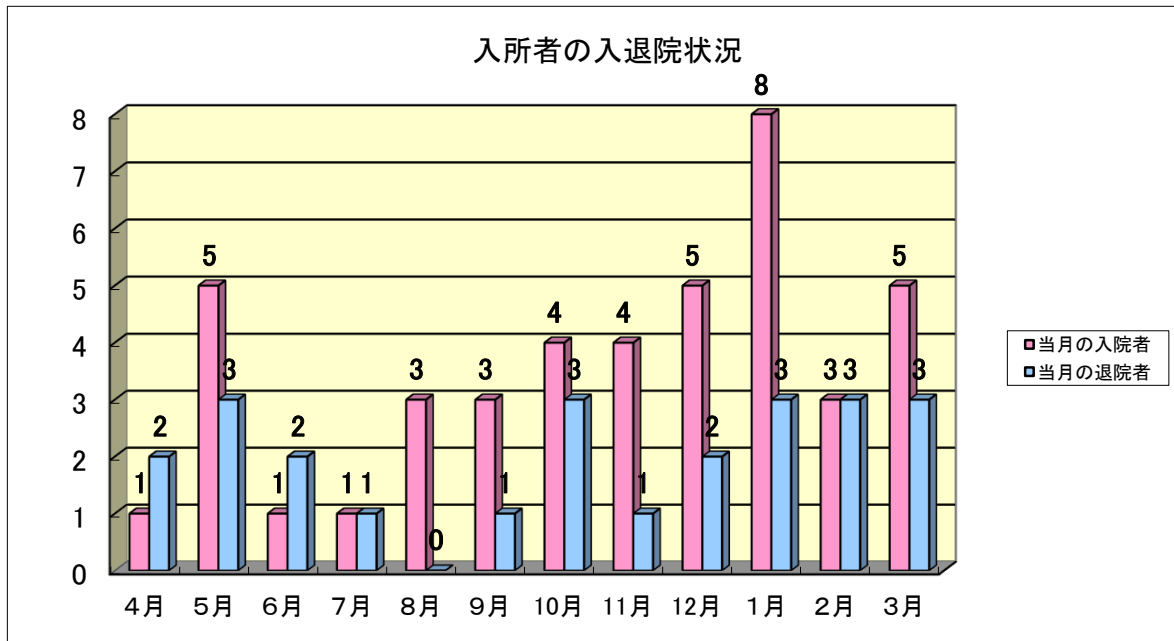
(R5.4.1～R6.3.31)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 吉田病院 | | 1 | 3 | | 3 | 1 | 5 | 4 | | 2 | 2 | 2 | 23 |
| 岡田皮膚科 | 5 | 7 | 13 | 5 | 11 | 4 | 4 | 1 | 13 | 9 | 7 | 14 | 93 |
| 東部医療センター | 6 | 7 | 6 | 7 | 8 | 5 | 7 | 8 | 6 | 6 | 5 | 5 | 76 |
| 東海病院 | 2 | | | 1 | | | | 2 | | | 1 | 6 | 12 |
| 江口整形外科 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 和田内科病院 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 2 |
| 茶屋ヶ坂皮膚科 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 名古屋ハートセンター | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 光ヶ丘内科クリニック | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 2 |
| 八事日赤 | | | | | | | | 1 | | 3 | 2 | | 6 |
| 聖霊病院 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 西部医療センター | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 大隈病院 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| 市立大学病院 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | 6 |
| 名古屋医療センター | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 4 |
| 上野産婦人科 | | | | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 合計 | 15 | 17 | 25 | 19 | 25 | 11 | 16 | 17 | 20 | 22 | 17 | 29 | 233 |

《入所者の入退院状況》

(R5.4.1～R6.3.31)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 当月の入院者 | 1 | 5 | 1 | 1 | 3 | 3 | 4 | 4 | 5 | 8 | 3 | 5 | 43 |
| 当月の退院者 | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 24 |



《往診の診察状況》

(R5.4.1～R6.3.31)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 小林メンタルクリニック(精神科医指導) | 19 | 18 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 18 | 17 | 19 | 19 | 224 |
| 嘱託医 診察 | 20 | 10 | 24 | 24 | 14 | 18 | 29 | 21 | 26 | 28 | 15 | 27 | 256 |
| 嘱託医 薬受け | 36 | 42 | 55 | 65 | 67 | 72 | 65 | 50 | 64 | 49 | 53 | 81 | 699 |
| 耳鼻科往診 | | | 15 | 15 | 15 | | 15 | 15 | 15 | 15 | 16 | 15 | 136 |

令和5年度口腔衛生管理往診

| | 1週 | 2週 | 3週 | 4週 | 5週 | 合計 |
|-----------|------------|---------|------------|----|------------|------------|
| 4月 | 8 | 9 | 8 | 9 | | 34 |
| 5月 | 9 | 9 | 停電のため中止 | 9 | 9 | 36 |
| 6月 | 9 | 9 | 8 | 9 | | 35 |
| 7月 | 9 | 9 | 祝日のため休診 | 9 | コロナ対応のため中止 | 27 |
| 8月 | 9 | お盆のため休診 | 9 | 9 | | 27 |
| 9月 | コロナ対応のため中止 | 9 | コロナ対応のため中止 | 9 | | 18 |
| 10月 | 職員確保できず中止 | 9 | 9 | 9 | 9 | 36 |
| 11月 | 9 | 9 | 9 | 9 | | 36 |
| 12月 | 6 | 9 | 9 | 9 | | 33 |
| 1月 | 元旦の為診察無し | 9 | 9 | 9 | | 27 |
| 2月 | 9 | 9 | 9 | 9 | | 36 |
| 3月 | 9 | 9 | 9 | 9 | | 36 |
| 合計 | | | | | | 381 |

口腔ケア・マネジメント計画に基づき、本山歯科と連携を取りご利用者の口腔内
清潔・維持、QOLの向上に努めた。

年間延べ300名以上の方の口腔ケアを実施することができた。

又歯科医、歯科衛生士からの指導により口腔ケアに対する意識の向上や技術の
向上に努めた。

**本山歯科 歯科衛生士による口腔ケアに関する勉強会を藤美苑で開催し、
介護課以外の他部署も参加して学んだ。**

特別養護老人ホーム藤美苑 口腔ケア・マネジメント計画

作成日令和5年4月1日

作成者 中村典久

指導歯科医師 _____

| | |
|-------------------|---|
| 当施設における口腔ケアに関する課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1、口腔ケアの重要性に対する職員の意識不足 2、口腔ケアに関する知識不足による、適切なケアが実施できていない 3、誤嚥性肺炎の予防 4、口腔ケアに伴うQOLの向上 |
| 当施設における口腔ケアの目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1、研修等を通して職員の知識の向上を図り意識付けをしていく 2、同上 3、誤嚥性肺炎を起こしやすい方に対して、口腔ケア強化を行い予防する 4、口腔ケアを実施していく事で、食欲・活力増進を図りQOLを向上する |
| 目標を達成するための具体的方策 | <ol style="list-style-type: none"> 1、・動画・集団研修を行う ・本山歯科と連携を取り、口腔ケアに関しての勉強会を開催する ・毎週往診に来て頂いている歯科医師、又は歯科衛生士より指導を受ける。 2、同上 3、誤嚥性肺炎を起されやすい方のピックアップ、口腔ケアの強化実施 4、ケアスタッフが適切に口腔ケアを行えるよう計画的に実施し、口腔内の清潔を保つことで食欲増進を図る |
| 留意事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1、口腔内清掃の介助について安全性に疑問がある場合は、随時歯科医師に助言を求めるものとする 2、口腔内清掃の介助については、入所者への十分な説明を行いながらできるだけ身体的、精神的負担を与えないよう配慮、実施する |
| 歯科医療機関との連携 | 藤美苑は協力歯科医院機関として本山歯科医院を定め、協力医院同意書を取り交わしている。入所者及びご家族へは契約時説明実施。藤美苑入所者は必要に応じ当該歯科から往診治療を受けられる体制にある |
| | 提携歯科医療機関 本山歯科医院 担当者 緊急連絡先 |
| 歯科医師からの指導要点 | |
| その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1、毎月行う指導については訪問歯科衛生指導記録と診療内容報告書のコピーを各部門に配布する。また、「plus one smile」にも記録し各部門情報共有する。 2、歯科医師(歯科医師の指示のある歯科衛生士)が来苑できない週においては当該歯科医療機関に連絡を取り指導を受けるものとする。 |

機能訓練

① 個別機能訓練

リソースの効率的な活用の為、基本方針として A:生活中的 ADL 遂行状況に向上可能性がある B:運動器や皮膚などに一定のリスクがあり定期的なフォローが望ましい C:動作訓練など介入に一定の技術が必要で介護士が行うには難易度が高い、方々を中心に PT が直接行う個別で訓練を行っている。

上記とは別に高度の関節拘縮や褥瘡形成などに関するリスクがあり、ポジショニングのような姿勢管理等の調整難易度が高そうな方に関しては可能な範囲での定期的な直接介入を重点実施している。

訓練時はどうしても入所者と接近や接触をせざるを得ないため、実施が感染伝播の機会とならないよう格段の配慮を行い、消毒・保清や PPE の適切な使用に努めている。

訓練の遂行状況について処遇検討会議の場にて特に新規入所者を中心に報告を実施。最近の入所待機の方を中心にショートステイご利用者に機能訓練を行うケースが増えてきている。

② 生活リハビリ

各フロアともリハビリプログラムの主軸となっている。実施に関する記録の主体性向上の取り組みの一環として、プログラムや記録内容に関するガイドラインを PT ではなく現場スタッフにて考え・作成を行っていただく取り組みを実施。PT は必要に応じてその内容の監修やフィードバックを中心に関与。

③ 集団リハビリ

集団リハビリは引き続き感染リスクへの対処の観点から大規模なものではなく小集団で生活リハビリの一環として関わりを重視しながら進めている。

④ ADL 評価

新規入所者の能力確認や環境調整に関する相談、既存入所者の能力変化に合わせた介助方法や環境面に対する調整業務を必要に応じておこなっている。アドバイス程度の介入もあれば、具体的内容の提案・必要性に合わせた個別訓練の追加や必要備品の調達なども実施することもあり、現場スタッフの判断能力・管理能力の涵養を重視して介入の程度を判断しながら行っている。

⑤ ポジショニング(不良肢位予防、褥瘡対策)

ポジショニングの支援業務を実施。褥瘡予防や過緊張・拘縮進行緩和などの観点からポジショニング方法の検討を行い、訓練時には直接的な調整や修正を実施。必要に応じて情報共有も行っている。

⑥ 教育関連

新人教育に関しては必要に応じ当施設のオペレーションに必要な備品などに関する知識の伝達を実施

⑦ キーパーソンとのコミュニケーション

ご家族からの機能面や ADL能力に対する心配・不安に対応するため、必要に応じてご家族立ち合いでの個別機能訓練を行い実際の動作・訓練場面をご覧いただき現状把握と今後についての説明を行う、機能訓練計画書に訓練の現況報告を行う追加資料を作成し添付するなどの取り組みを開始。今後も必要に応じて展開していく予定。

5 栄養指導

<行事食について>

暦の上の行事にあった食事の提供を行った。季節感を味わって頂き食事の内容に変化を持たせることで、食事に対する興味を持って頂けるよう努めた。

令和5年度に実施した行事食一覧

| 行事食 | 月 日 | 内 容 |
|---------------|--------|---|
| 春のお茶会 | 4月 21日 | 昼食 ちらし寿司、和え物、茶碗蒸し、 ケーキ(BD会と重なったため) 春のお茶会 普通おやつ：和風モンブラン・桜もち風生菓子 ゼリーおやつ：桜ゼリー・わたようかん 飲物：緑茶・ジュース(紅茶・リンゴジュース) |
| こどもの日 | 5月 5日 | 昼食 ピラフ、エビカツ、サラダ、スープ、季節のデザート |
| うなぎの日 (夏季) | 6月 11日 | 昼食 ひつまぶし風うなぎ丼、お浸し、吸い物、デザート |
| そうめん | 7月 7日 | 昼食 米飯、カレイの煮付け、白菜の磯和え、そうめん汁、季節のデザート |
| 海の日 | 7月 17日 | 昼食 ベーコンと野菜のピラフ、ごぼうサラダ、イタリアンスープ、海の日デザート |
| 土用の丑 | 7月 30日 | 昼食 うなとろ丼、冬瓜のかにあん、吸い物、季節のデザート |
| 夏まつり | 8月 26日 | 昼食 模擬店で、カレーライス、焼きそば、たこ焼き、鶏のから揚げ、さつま芋スティック、餃子、冷奴、綿菓子、みたらし風ゼリー、クレープ、アイスクリーム、チョコバナナ、パイン、かき氷、ノンアルコールビール、ジュース、お茶、 甘酒 |
| 敬老祝賀会 | 9月 14日 | 昼食 刺身の船盛 米飯、刺身、ほうれん草のお浸し、吸い物 おやつ 紅白饅頭(祝の焼印入)または水ようかん/亀吉紀 |

| | | |
|---------------|---------|---|
| ハロウィン | 10月31日 | 昼食 エビピラフ、ミートローフ、南瓜のサラダ、オニオンスープ、ハロウィンデザート(練り切り) |
| 秋まつり | 11月3日 | 昼食 栗ごはん、鮭のきのこあんかけ 付) 南瓜と絹さや、ブロッコリーサラダ、松茸の吸い物 おやつ 栗のムース(全形態共通固定提供) 飲物：コーヒー |
| うなぎの日 (冬季) | 12月2日 | 昼食 うなぎ丼、和え物、味噌汁、デザート |
| さかなの日 | 3月7日 | 昼食 海鮮丼、和え物、吸い物、デザート |
| おせち料理 | 1月1日～3日 | 雑煮、数の子などおせち料理を提供し、正月の気分を味わって頂く |
| 七草粥 | 1月7日 | 七草粥 |
| 鏡開き | 1月11日 | おやつ：おしろこ風ゼリー |
| 節分 | 2月3日 | 節分ちらし |
| ひな祭り | 3月3日 | ひなちらし |
| 毎月誕生会 | 毎月第3金曜日 | 祝い膳/割子弁当、デザート |

<適温・適時について>

- ①適温 2階食堂についてはカウンターより対面配膳を行い、冷たい物は冷蔵庫、温かい物はウォーマーで配膳直前まで温度管理した。
1階、3階食堂については温冷配膳車を使用し、常に適温で食事ができるよう努めた。
- ②適時 できる限り家庭に近い食事時間を設定し、確実にその時間に提供できるよう努めた。

| 食事時間 | |
|------|--------|
| 朝食 | 8:00～ |
| 昼食 | 12:00～ |
| 夕食 | 17:30～ |

<調理技術について>

入所者、利用者の状態にあった食材料の選択、調理法の工夫、味付け、盛り付け、彩り・切り方に気を配り、栄養士、調理員にて検討を行う事によって、おいしく、愛情のこもった食事を提供できるよう努めた。

<献立について>

入所者からの直接の声などを随時聞くことで献立作成時に参考にし、新しいメニューを取り入れた。

<個別処遇について>

入所者、利用者それぞれの状態に合わせた食事形態で提供できるよう努めた。食事の様子を拝見し、変更を要する方については、介護職員・看護職員と検討しながら、食事形態の変更を実施した。又、自助具を取り入れることによって残存機能を維持し、できる限り自力で食べることの楽しみをもって頂ける環境作りに努めた。

<食事形態別食数について>

令和4年3月末日現在の食事形態種別は表参照

<検査食について>

毎食時、入所者、利用者に提供する前に数人の職員によって検食を実施した。検食を行った職員は主食の炊き具合、盛り付け、色彩、味付け、分量などの評価と感想を検食簿に記入し、それを献立作成時に参考にした。

<厨房内衛生管理について>

① 厨房内衛生管理

厨房内は毎日の通常清掃と業者による定期的なねずみ・害虫等防除作業を行い、常に衛生的な環境を保持できるよう努めた。

② 食品衛生管理

食品が納入された時点で検収を行い、品質、温度、賞味期限等の確認を行った。

③ 機器・食器入れ替え

厨房機器は定期メンテナンスを行い、必要に応じて修理した。

また食器については、不足すると速やかに補充できるよう在庫をもち、業務に支障が出ないように努めた。

<職員衛生管理について>

ご利用者の食に対する安心の為にも直接食事介助する職員・パート職員を対象に、衛生管理の為の便保菌検査を年1回（8月）実施した。

又、食事介助の際には手洗いの実施を徹底した。

<栄養ケアマネジメントについて>

入所者の日常的な生活の営みである「口から食べること」を優先的な課題とし、単に体重や血液検査数値といった栄養指標の改善を目指すに留まることなく、適正な「栄養ケア」を提供し要介護状態の予防や重度化の予防に努めるため、多職種と共同して栄養ケアマネジメントを行った。

また、栄養ケアマネジメント強化加算算定のため、日々のミールラウンドや栄養ケアカンファレンスを実施し、多職種連携による栄養ケア計画書を作成した。

<ソフト食の充実について>

食事形態の種類として、以前より取り組んでいるソフト食の回数増や内容の充実に取り組んだ。以前より見た目も食感も良くなっている。次年度以降も引続き内容の充実に取り組んでいく。

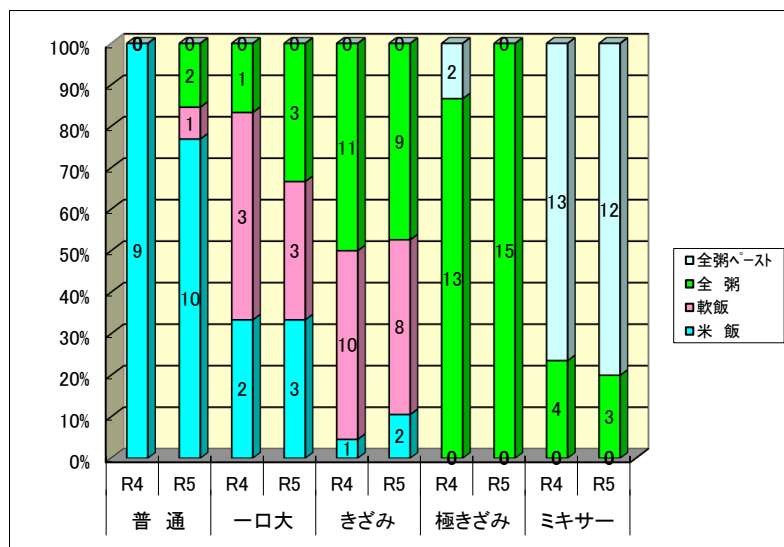
<日々改善について>

毎月の施設内での給食会議や委託業者である日本ゼネラルフードとの会議を通して、意見交換や情報提供を行い、食事内容等問題点を洗い出すことで日々改善に努めた。又、必要に応じて管理栄養士を通して直接厨房へ改善を随時お願いした。

表 入所者食事形態種別(前年度比較)

| | | 副 食 | | | | | | | | | | 合 計 | |
|--------|--------|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|-----|----|
| | | 普 通 | | 一口大 | | きざみ | | 極きざみ | | ミキサー | | R4 | R5 |
| | | R4 | R5 | R4 | R5 | R4 | R5 | R4 | R5 | R4 | R5 | | |
| 主 食 | 米 飯 | 9 | 10 | 2 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 15 |
| | 軟飯 | 0 | 1 | 3 | 3 | 10 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 12 |
| | 全 粥 | 0 | 2 | 1 | 3 | 11 | 9 | 13 | 15 | 4 | 3 | 29 | 32 |
| | 全粥へーすと | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 13 | 12 | 15 | 12 |
| 合 計 | | 9 | 13 | 6 | 9 | 22 | 19 | 15 | 15 | 17 | 15 | 69 | 71 |

(令和6年3月31日昼現在)



令和5年度給食食数

| 区 分 | | 米 飯 | | | | | 計 | 軟 飯 | | | | | 計 | 全 粥 | | | | | 計 | 特別対応 | | | | 計 | 合 計 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----|
| | | 普通 | 一口大 | きざみ | 極きざみ | ミキサー | | 普通 | 一口大 | きざみ | 極きざみ | ミキサー | | 普通 | 一口大 | きざみ | 極きざみ | ミキサー | | 胃ろう | ワンステッ | エンジョイ | 計 | | |
| 入 所 | 合計 | 2898 | 1943 | 1348 | 0 | 0 | 6189 | 915 | 2033 | 8065 | 465 | 0 | 11478 | 434 | 1549 | 11384 | 14668 | 16067 | 44102 | 4279 | 7676 | 7528 | 19493 | 81252 | |
| | % | 4% | 2% | 2% | 0% | 0% | 8% | 1% | 3% | 10% | 1% | 0% | 14% | 1% | 2% | 14% | 18% | 20% | 54% | 5% | 9% | 9% | 24% | 100% | |
| | 1日平均 | 8 | 5 | 4 | 0 | 0 | 17 | 3 | 6 | 22 | 1 | 0 | 32 | 1 | 5 | 31 | 40 | 44 | 121 | 138 | 255 | 246 | 639 | 808 | |
| シ ョ ー ト | 合計 | 5058 | 1068 | 32 | 0 | 0 | 6158 | 0 | 854 | 1249 | 0 | 0 | 2103 | 0 | 509 | 3572 | 765 | 2691 | 7537 | 0 | 821 | 657 | 1478 | 17276 | |
| | % | 29% | 6% | 0% | 0% | 0% | 36% | 0% | 5% | 7% | 0% | 0% | 12% | 0% | 3% | 21% | 4% | 16% | 44% | 0% | 5% | 4% | 9% | 100% | |
| | 1日平均 | 13 | 3 | 0 | 0 | 0 | 16 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 2 | 10 | 2 | 7 | 21 | 0 | 0 | 18 | 18 | 61 | |
| フ ェ イ ー ビ ス | 合計 | 904 | 0 | 0 | 0 | 0 | 904 | 93 | 7 | 130 | 0 | 0 | 230 | 93 | 90 | 72 | 0 | 0 | 255 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1389 | |
| | % | 65% | 0% | 0% | 0% | 0% | 65% | 7% | 1% | 9% | 0% | 0% | 17% | 7% | 6% | 5% | 0% | 0% | 18% | 0% | 0% | 0% | 0% | 100% | |
| | 1日平均 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | |

6 デイサービス

<サービス内容の充実>

- 9時45分から17時まで、年末年始（12/31～1/1.2.3 除く）を営業し在宅介護の必要な方に通苑していただき、ご家族の介護負担を軽減しました。
- 予防通所介護事業を行い要支援状態にある方の身体機能維持向上を支援しました。
- 口腔ケア、口腔体操、グループ別リハビリを毎日行い、ご利用者の口腔機能の維持向上、病気や転倒の予防を支援し好評を得ました。
- 通所介護計画書、予防通所介護計画書を作成し、各ご利用者にあったサービスを提供しました。

○レクリエーション活動

手芸・創作活動など希望者は作品づくりを行い、ダイルールの壁等に飾りました。また、利用者一人ひとり希望されたレクリエーションを実施しました。

コロナウイルスの感染予防を考慮しながら、季節の趣に合った催しを定期に実施しました。4月、平和公園にお花見へ外出 5月、端午の節句 6月、**茶屋ヶ坂アジサイ見学** 7月、短冊に願い事を書いて笹に飾り付けて頂きました。8月、夏の雰囲気味わっていただく。9月、**敬老を祝う会にて記念品を贈る**。10月、**秋の植物を生け花にして楽しむ** 11月、**日泰寺へ外出** 12月、年忘れクリスマス会実施 1月、初詣に上野天満宮へ外出を行いました。2月、豆まきと節分にちなんだゲームを実施、3月、桃の節句 ひな祭り会を楽しんでいただきました。

誕生日会を月ごとに実施し、喜んで頂けるように、靴下、ぬいぐるみ、タオル、**写真立て**などプレゼントしました。

口腔・栄養スクリーニングを行い健康管理に努めました。

○送迎

長時間乗車によるご利用者の疲労軽減と業務の効率、ご家族の希望、を聞きながら送迎の見直しを随時実施しました。

<利用人数の確保>

ご利用者及び関係のケアマネジャーへパンフレットや毎月空き情報を作成し新規利用者紹介**獲得をこころみましたが、新たなサービス内容拡充が不十分で**利用者の継続した確保につながらず、**コロナ感染の影響による利用控えもあり、5.5名と前年を0.7減であった。※検討の結果、令和6年7月1日より最大6ヶ月間休止し職員の入替も含めデイサービスそのものを再構築することとした。**

<デイサービスだより>

年3回、デイサービスだよりを発行し、ご家族様やケアマネジャーにご利用者の状況をお知らせしました。また、営業活動にも利用しました。

<ご家族との関係>

個人情報利用の手続きを得て利用中のレクリエーション、季節行事、外出の様子等写真を配り、活動内容をお知らせしました。ご家族のご要望に積極的に対応し又、ご利用中の変化等については迅速に連絡し対処することができました。**サービス提供の現状を正しく把握し運営改善に繋げるためにユーザー評価を行いました。**

<運営推進会議>

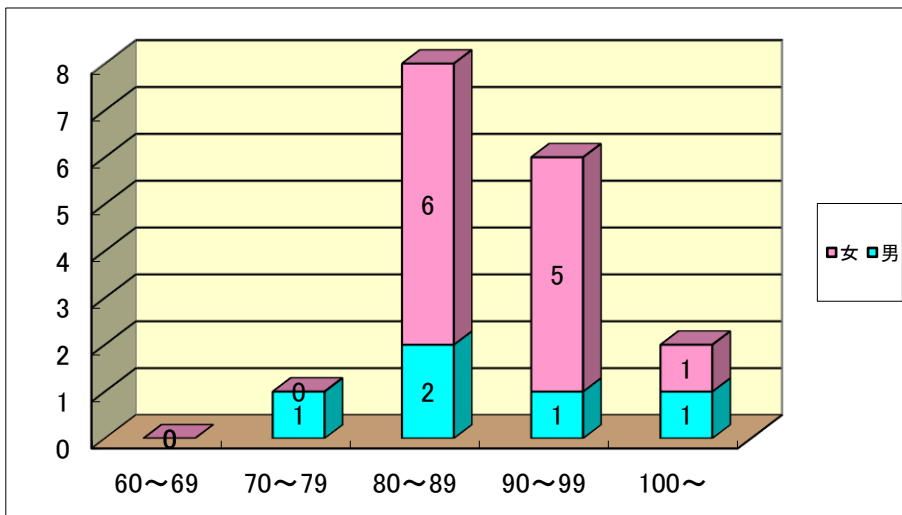
運営推進会議を、**10月、3月開催し**、ケアマネジャー・ご家族・地域代表者などから情報交換やご意見を伺うことで、サービス向上や改善に継続して努めました。

表 デイサービス利用状況

(令和6年3月31日 現在)

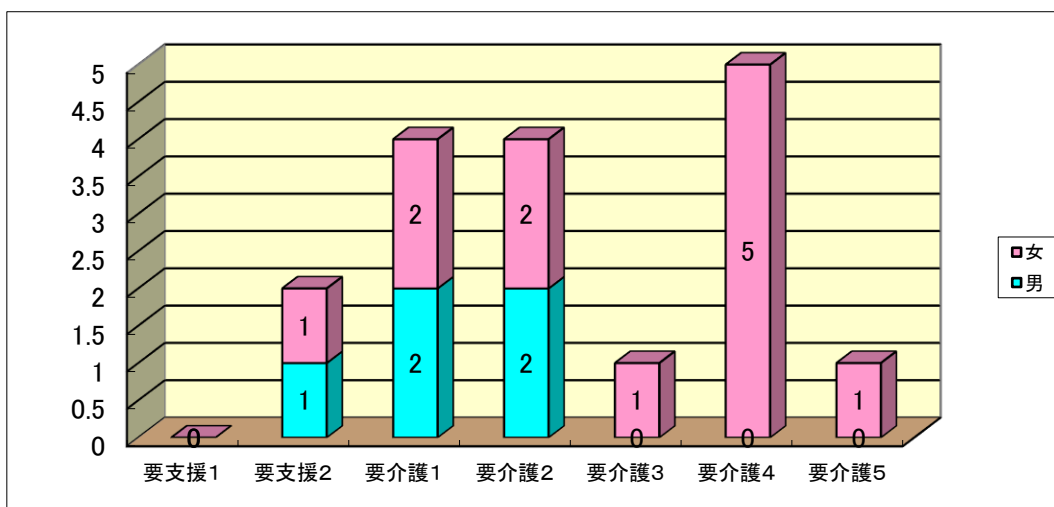
(1) 年齢別利用者数

| | 60～69 | 70～79 | 80～89 | 90～99 | 100～ | 合計 | 平均年齢 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|------|----|-------------|
| 男 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 | 86.8 |
| 女 | 0 | 0 | 6 | 5 | 1 | 12 | 89.7 |
| 全体 | 0 | 1 | 8 | 6 | 2 | 17 | 88.2 |



(2) 介護度別利用者数

| | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 | 平均介護度 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|----|-------------|
| 男 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1.40 |
| 女 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 5 | 1 | 12 | 2.83 |
| 計 | 0 | 2 | 4 | 4 | 1 | 5 | 1 | 17 | 2.12 |



(3) 歩行ADL別利用者数

| 車椅子 | 杖・手引き | 歩行器 | 普通歩行 | 合計 |
|-----|-------|-----|------|----|
| 2 | 7 | 2 | 6 | 17 |

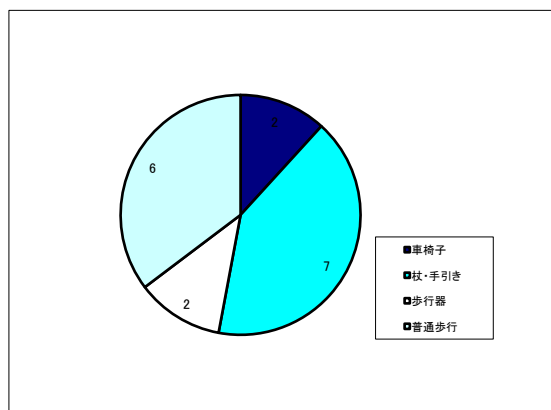
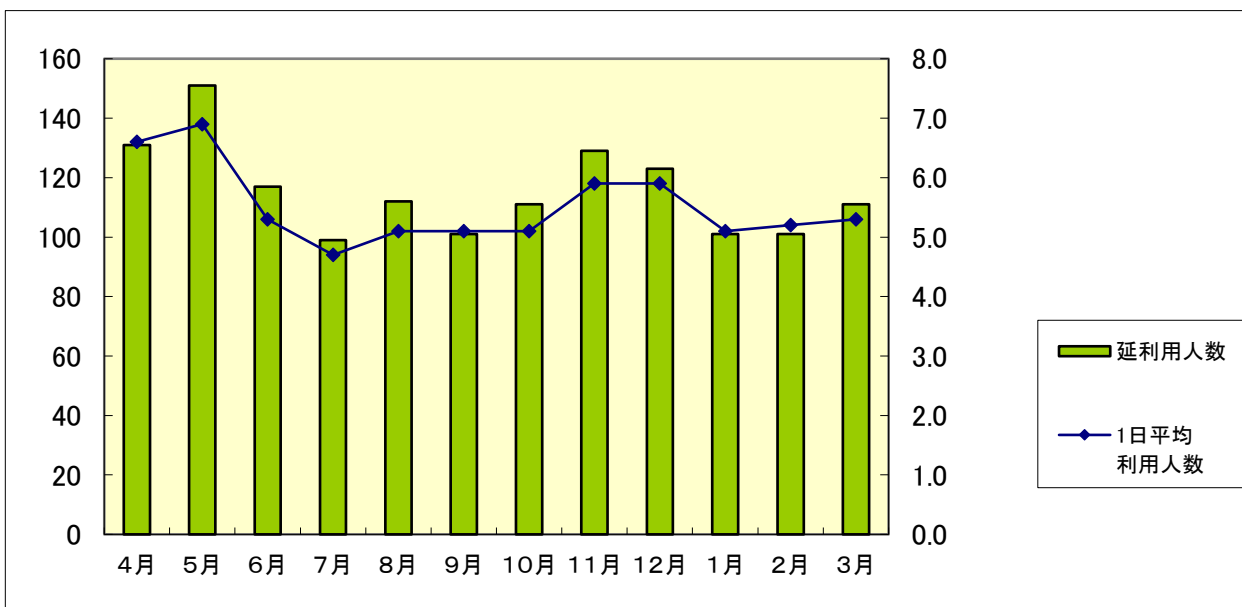


表11 月別利用状況(延利用人数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 延利用人数 | 131 | 151 | 117 | 99 | 112 | 101 | 111 | 129 | 123 | 101 | 101 | 111 | 1,387 | 116 |
| 営業日数 | 20 | 22 | 22 | 21 | 22 | 20 | 22 | 22 | 21 | 20 | 21 | 21 | 254 | 21 |
| 1日平均 利用人数 | 6.6 | 6.9 | 5.3 | 4.7 | 5.1 | 5.1 | 5.1 | 5.9 | 5.9 | 5.1 | 5.2 | 5.3 | 66 | 5.5 |



※行事及びレクリエーション実績

| 月 | 行事及びレクリエーション | 内 容 |
|-----|--------------|----------------------|
| 4月 | 花見外出 | 平和公園へお花見外出 |
| 5月 | 端午の節句 | 端午の節句の会 |
| 6月 | 初夏の外出 | 茶屋ヶ坂公園へアジサイ見学 |
| 7月 | 七夕会 | 短冊に願い事をかいて笹に飾りつけを行う |
| 8月 | 夏祭り | 夏の雰囲気を楽しむ |
| 9月 | 敬老会 | 敬老を祝う会 |
| 10月 | 秋のお茶会 | 秋の植物を生け花にして楽しむ |
| 11月 | 秋の外出 | 日泰寺へ外出 |
| 12月 | 年忘れクリスマス会 | 年忘れクリスマス会で出し物を楽しんで頂く |
| 1月 | 初詣外出 | 初詣外出(上野天満宮) |
| 2月 | 節分 | 節分にちなんだゲーム豆まきを実施 |
| 3月 | 桃の節句 | ひな祭りを楽しんで頂く |

※誕生日会 靴下、ぬいぐるみ、タオル、写真立てなど好みを聞きながら、プレゼントする。

7 介護支援及び人材支援について

コロナウイルスの対応について、年度の途中からは世間全般が通常の対応に戻りつつあったが、介護施設という特殊な環境の為、全く同じような対応にはなかなかできない状況でした。

実際、面会再開のきっかけとして、夏祭りを通常開放したが、翌日よりコロナ陽性者が出ることとなり、隔離対応を余儀なくされた。

そのため、介護支援においても、感染症予防を念頭に入れたうえでの実施を継続する形となった。

1、施設内研修

認知症ケア

新人研修

対象者：久保山 CS

5月 リスクマネジメント、BPSD による竹内3分類

8月 読書開始 長谷川式の先生の認知症実体験の本

9月 読書感想文提出

12月 会議出席、一年の振り返り

中堅研修

対象者：山田 CS

5月 マナビタ 認知症の理解

7月 ユマニチュード DVD 鑑賞、感想文

9月 リスクマネジメント上級

1月 読書感想文 長谷川式先生の認知症実体験の本

3月 一年の振り返り※勤務変更にて実施出来ず。まとめの感想だけ提出

リハビリ研修

本年度採用した新人職員の中尾 CS、坂村 CS に太田 PT より実施しました。

個別レベルアップ研修

竹長 CL→4/20 「片麻痺者を介護するということ7」

1/25 「片麻痺者を介護するということ8」

花城 CS→4/20 「片麻痺者を介護するということ7」

矢田 CS→期間：昨年末～R6.3月

昨年末より事故が多数発生し、個人での修正が難しい為、対応。

個別で新しいフォーマットの事故報告書を用意し、ヒヤリハット、事故発生時にOJTを実施。

随時、就業時間後に面談を開催し振り返りを行う。

また、介護支援課長、課長代理にて月間のスケジュールを設け、面談も実施。

以前に比べ、わずかではあるが状況は好転し、上昇傾向にある。

※職員の数が揃わず、研修が思うように進まず、以上のような数のみとなってしまった。来年度はもう少し実施数が増えるよう取り組みたいと思います。

2、施設外研修

外部研修：

- ・酒井ケアリーダー→令和5年度名古屋市認定調査員研修（新任研修）
(R5.6.2)
- ・松尾課長代理→2023年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（愛知・名古屋）
(R5.10.17～10.18)
- ・加藤美穂看護職員→2023年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（愛知・名古屋）
(R5.10.17～10.18)
- ・中村介護支援課長→外国人介護人材受入セミナー（R6.1.17・2.20）
- ・松尾介護課長代理→令和5年度第2回千種区の福祉施設を対象とした感染対策講習会
(R6.2.19)

3、外部の講師を招いて行う研修

実施せず。

4、外部研修を行った職員による勉強会

感染症予防の為、実施せず。

5、ジョブメドレーアカデミーを活用した研修

1、年12回のプログラムを用意し、全職員への研修を行います。

2、職員のレベルに合わせたプログラムを作成し、研修を実施する。

山田 CS→1/31 「誰にでもできる寝たきり重度の復帰ケアと拘縮予防ケア」

久保山 CS→7/12 「医療連携に必要な知識と技術」

1/30 「排泄支援の知識と技術の基礎」

吉田係長→1/26 「業務改善を通して働きやすい環境を創る基礎研修」

濱口係長→1/24 「介護リーダーに必要な業務改善のための4つの力」

森本 CS→1/11 「からだところの理解」

花城 CS→4/20 「介護職のための病気と薬の基礎講座」

「片麻痺者を介護するということ7」

松田俊哉 CS→6/5 「対人援助職としての基本的な倫理」

上杉 CS→12/18 「人の心を理解する 介護現場で起こる感情転移と逆転移について」

矢田 CS→12/20 「記録研修1」

6 身体拘束廃止に向けた研修

新人職員の採用時には、決められた研修を実施できました。(人材支援部課長担当)

年2回の研修を実施できました。(ジョブメドレーアカデミーより実施)

年1回、身体拘束廃止に向けた勉強会(身体拘束に関する指針内の施設独自の勉強会について)を開催しました。(人材支援部課長担当)

7 高齢者虐待防止に向けた研修

年2回全職員に研修を実施できました。(ジョブメドレーアカデミーにより実施)

8 認知症に係る基礎的な研修

久保山ケアスタッフ→R6.2.26 終了

藤谷ケアスタッフ→R6.3.29 終了予定

II チーム力向上に向けた取り組み

医務：7、8月ごろに職員より相談があり、随時調整を行ったが、問題解決には至らず。

問題点としては、コミュニケーション全般となっており、苑長に報告実施。

デイサービス：稼働率の下降傾向が止まらないことについて、12月に面談を実施。問題点についての確認を行うが、一時的な落ち込みであり、いずれ回復するという判断であった。

内容を苑長へ報告。

3月現在も状況は変わらず。稼働率が上昇傾向にならないことについては別の問題点があるように感じるが、人材支援部として関われる範囲としては、問題点の指摘が限界と感じる。

III、施設内の運営円滑化に向けた取り組み

空きベッド状況確認会議

年度末にかけて、退所される方が多くなり、状況に合わせて随時実施を行い、早急な入所に努めた。また、介護、相談部、医務それぞれ利害が相反し、なかなか次期入所者が選定されないことを憂慮し、総務の向井部長にも会議に入ってもらい、会議が円滑に進むよう対応を行った。結果として、今現在は次期入所者の選定は以前よりもスピーディに対応出来ている。

職種間を超えたミーティングの開催

医務の人員入れ替えが続いていた為、実施出来ず。

個別面談の実施

本人より申し出があったものについて、業務時間内に時間を設け、1時間～1時間半程度実施。月に1～3件程度の割合で希望があり、対応しました。

医務からの依頼もあった。介護職員に関しては、今年度、産休はあったが退職者は無く、こういった取り組みが良い成果を出していると思われる。

IV介護支援としての取り組み

1、口腔ケアの充実

①本山歯科往診時にケアスタッフに口腔ケアの実施している所を見学、必要に応じて指導を受けた。

②7・3月にマナビタ動画研修システムを活用し口腔ケアについて学んだ。

③12月に本山歯科講習による勉強会を開催し、ケアスタッフはもちろん、他部署も参加し共に口腔ケアについて学んだ。

1、介護技術の向上

太田PTとの連携について、計画を行いましたが、実施までには至りませんでした。来年度、改めて取り組んでまいります。

8 研修・教育について

コロナウィルスからの脅威からも緩和され、苑外への研修や、苑内への実習生の受入開始する事が出来ました。苑内での動画研修も毎月予定通り実施する事が出来た。

1, 職場研修・教育・指導マニュアルの構築と実施について

ジョブメドレーアカデミー（動画研修）を活用し年間でテーマを元に動画を選び学んでもらう事が出来ました。

新人職員には、現場での研修を中心に研修を行い、個人個人必要に応じてカンファレンス、研修などを行った。

お茶の水ケアサービス（動画研修）を活用し個別で研修を行いました。

往診に来ている本山歯科に依頼し、口腔ケアについての勉強会を苑内で開催する事が出来ました。介護課だけでなく他部署のスタッフにも参加して頂きました。

毎月職員会議で勉強会を行い、他部署の専門職に講義を依頼し多職種の専門知識を得てもらえる事が出来た。

又、勉強会に参加していないスタッフも学べるよう、勉強会の様子を動画で撮影しLINE 機能を活用し全職員が学べるよう行った。

2, 外部研修の参加について

東海北陸ブロック愛知県大会や外国人介護人材受入セミナーなど何人かのスタッフが外部の研修に参加する事が出来ました。

3, マニュアルの見直しについて

少しですがマニュアル作成を行う事ができた。今後も継続して見直しと動画マニュアルの作成を行っていく。

4, 研修生・実習生の受入れについて

教員免許特例法による介護等体験実習 愛知学泉大学 5名の受入をすることができ無事5日間終えることができました。

5, 外国人労働者への対応について

1名在籍している外国人スタッフが今年度に介護福祉士国家受験をする為受験勉強に協力をしました。

6, 認知症ケアに関する研修の実施について

今年は苑内研修を中心に、新人職員研修を実施しました。外部研修や内部研修については、感染症予防の観点から実施できず、面談や e-ラーニングを中心にしたものになってしまいました。

今年も国が任意で定めた「認知症介護基礎研修」を e-ラーニングにて 2名実施しました。

7, リスクマネジメントの推進について

予定通り実施出来ました。

8, 虐待防止への取組みについて

運営会議の日に身体拘束委員会と合わせて隔月で実施のところまで整いました。研修についてはジョブメドレーアカデミー（動画研修）と職員会議内での勉強会にて実施できました。

令和5年度 ジョブアカデミー（動画）研修表

| 研修予定 | | 参加者 |
|------|--|----------------|
| 4月 | 4月 事故予防① | 全職員参加※ |
| | 「報告や想定をしなかったことで起こるリスク」「責任認定について」 | |
| 5月 | 5月 感染症予防① | 全職員参加※ |
| | 「感染症とは」「標準予防策(スタンダードプリコーション)」 | |
| 6月 | 6月 身体拘束・虐待防止① | 全職員参加※ |
| | 「介護施設における虐待」「事業所の不適切ケアを挙げる」 | |
| 7月 | 7月 フリーテーマ「口腔ケア①」 | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「歯磨きではなく、口腔ケア！」「手順やポイント」「用具の種類」 | |
| 8月 | 8月 褥瘡予防① | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「褥瘡を防ぐための工夫①褥瘡を防ぐための工夫②」 | |
| 9月 | 9月 認知症を知る① | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「認知症の本態は認知症障害」「認知症の方の心理」「認知症を生み出す要因」 | |
| 10月 | 10月 事故予防② | 全職員参加※ |
| | 「多い事故」「事故の予防・事故後の対策」 | |
| 11月 | 11月 感染症予防② | 全職員参加※ |
| | 「実践編Ⅰ「感染防止の基本」「実践編Ⅱ「介護業務の注意点」「正しい手洗い方法」 | |
| 12月 | 12月 身体拘束・虐待防止② | 全職員参加※ |
| | 「利用者の人権を考える」「虐待への道8」 | |
| 1月 | 1月 褥瘡予防② | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「褥瘡を防ぐための工夫①」 | |
| 2月 | 2月 認知症を知る② | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「認知症ケアの戦略(タイプ別ケア)」「6つの認知症タイプとタイプ別ケア①②」 | |
| 3月 | 3月 口腔ケア | 介護部正職員 と希望者 |
| | 「ケース3乾燥・非経口摂取・洗口不可の場合」「中級編第4章器具の正しい使用方法」 | |
| 【備考】 | ※総務課・支援相談部・栄養指導課・看護課・介護課・通所介護課・居宅支援課 の正職員・パートスタッフ全員 | |

令和5年度 研修参加報告

コロナウィルスも5類に分類され、外部研修の参加も少しずつ実施を検討しました。
施設内動画研修、eラーニング研修も含め知識向上に努めました。

- (eラーニング研修)
 - 久保山ケアスタッフ：認知症介護基礎研修（2月）
 - 藤谷パートケアスタッフ：認知症介護基礎研修（3月）
 - 松尾介護課課長代理：令和5年度介護施設における安全対策担当者養成研修
- 本山歯科による口腔ケア講習会（12月）（施設内集団研修）
 - 介護課、看護課、総務部 計15名参加
- ジョブアカデミー研修（動画研修）
 - 別紙参照（参加部署・メンバー、研修内容記載）
- お茶の水ケアサービス動画研修
 - 森本ケアスタッフ：No.42事故予防及び緊急対応研修（9月）
 - 中村亮ケアスタッフ：No.52感染症の予防とまん延防止（9月）
 - 久保山ケアスタッフ：No.87リスクマネジメント研修（9月）
- 外部研修
 - 松尾介護課長代理：令和5年度第2回千種区の福祉施設を対象とした感染対策講習会（2月）
 - 中村典介護支援課長：外国人介護人材受入セミナー（1・2月）
 - 松尾介護課長代理：東海北陸ブロック 愛知県大会（11月）